

# 地域福祉についての 住民アンケート 集計結果

平成31年3月

## 目次

1. 調査の趣旨と方法等.....	1
2. 回答者の属性.....	2
3. 地域（ご近所）について.....	5
4. 地域の活動への参加について.....	11
5. 災害時に備えた地域づくりについて.....	20
6. 地域での見守りや生活支援について.....	29
7. 社会福祉協議会について.....	36
8. 地域福祉の推進について.....	39
資料：調査票.....	48

# 1. 調査の趣旨と方法等

## 1. 目的

軽米町地域福祉計画の策定にあたり、地域福祉に関連した住民の意向を把握するため、住民アンケート調査を実施しました。

## 2. 対象と方法

20歳以上の町民1,000人を無作為抽出し、郵送による配付と回収を行いました。

## 3. アンケート調査概要

- 調査実施期間：平成30年8月4日～平成30年8月12日
- 発送件数：1,000通（郵送による発送と回収）
- 不達件数： 4通
- 回収件数： 459通
- 回収率： 46.1%
- 有効回答数： 456件

## 2. 回答者の属性

回答者の属性は、「男性」37.3%、「女性」56.4%、「無回答」6.4%で女性の比率が高くなっています。年代別では、「60代」が最も多く全世代の3割近くを占めています。次いで「70代」、「50代」、「80代以上」と続き、「20代」から「40代」の層の回答割合が低くなっています。

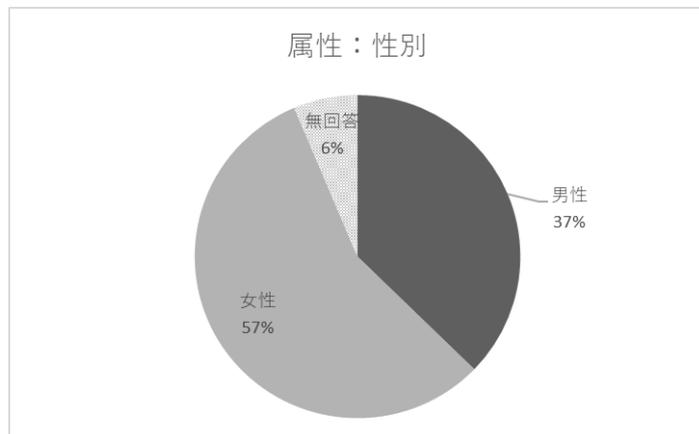
地区別では「軽米小学校区」で半数を超えています。

職業別では、「会社員」と「年金生活者」がそれぞれ2割を超えて最も多く、次いで「自営業」、「無職」でした。「学生」からの回答はありません。

同居家族については「子」との同居が最も多く46%を占めています。次いで「配偶者」、「母親」、「父親」の順で、単身世帯は1割弱でした。世帯人数では「2人」世帯と「3人」世帯で半数を占めています。

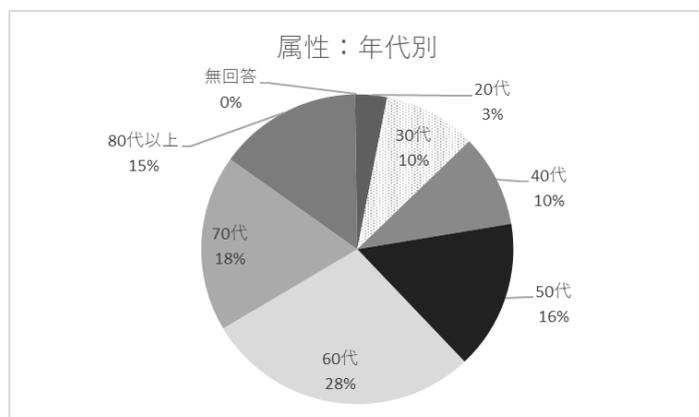
### ●性別

	n=	456
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
男性	170	37.3
女性	257	56.4
無回答	29	6.4
計	456	100.0



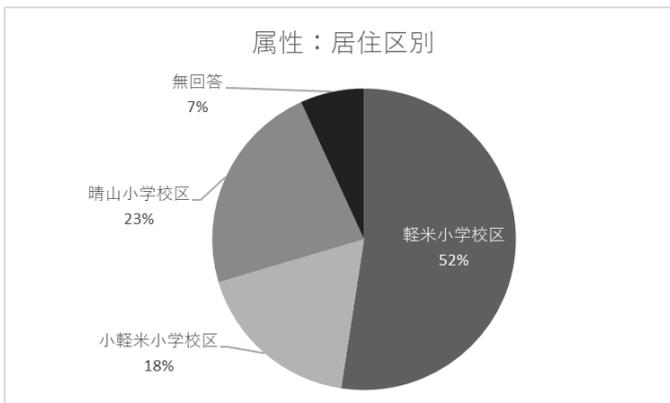
### ●年齢

	n=	456
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
20代	14	3.1
30代	44	9.6
40代	44	9.6
50代	71	15.6
60代	130	28.5
70代	84	18.4
80代以上	68	14.9
無回答	1	0.2
計	456	100.0



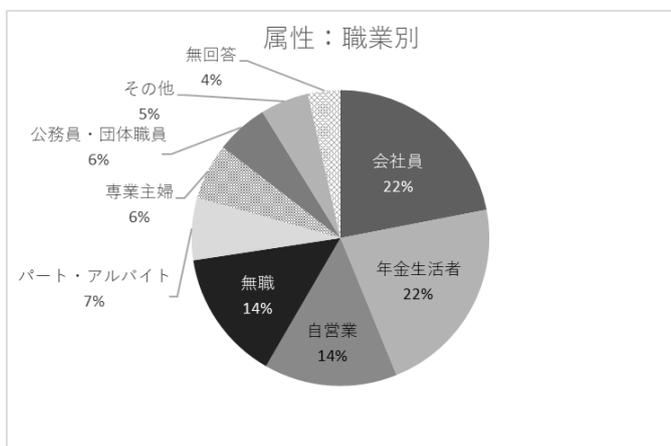
●居住地区

	n=	456
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
軽米小学校区	239	52.4
小軽米小学校区	82	18.0
晴山小学校区	104	22.8
無回答	31	6.8
計	456	100.0



●職業

	n=	456
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
会社員	100	21.9
年金生活者	100	21.9
自営業	66	14.5
無職	65	14.3
パート・アルバイト	31	6.8
専業主婦	28	6.1
公務員・団体職員	26	5.7
学生	0	0.0
その他	24	5.3
無回答	16	3.5
計	456	100.0

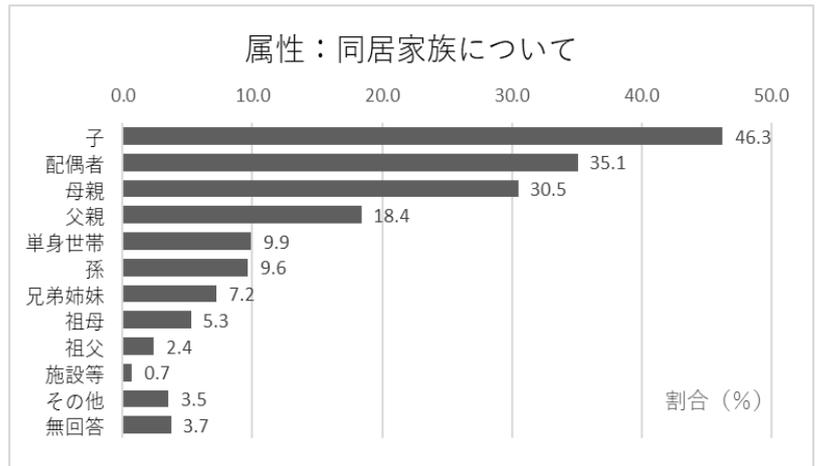


その他の回答 (抜粋)

- 農業：15件      • 臨時職員：1件      • 看護師：1件      • 生活保護：2件      • 保育士：1件
- 不明：4件

●同居家族

	n=	456
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
子	211	46.3
配偶者	160	35.1
母親	139	30.5
父親	84	18.4
単身世帯	45	9.9
孫	44	9.6
兄弟姉妹	33	7.2
祖母	24	5.3
祖父	11	2.4
施設等	3	0.7
その他	16	3.5
無回答	17	3.7

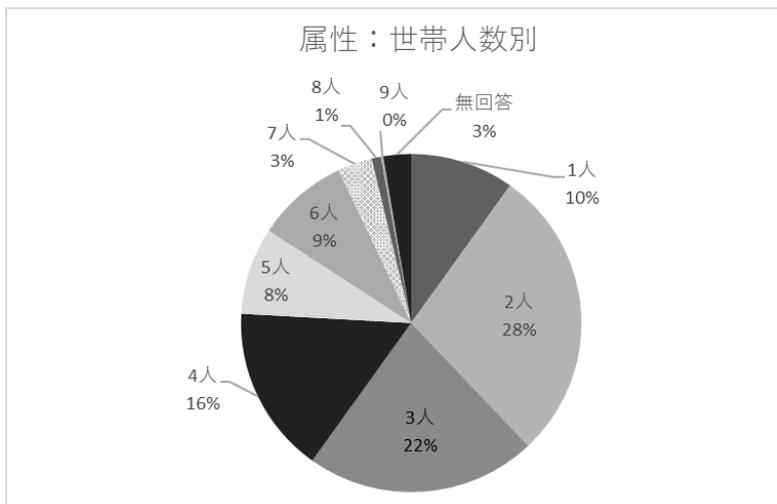


その他の回答 (抜粋)

- 母親施設に入所中(1)
- 孫嫁。曾孫 (1)
- 姪 (1)
- 世帯主 (1)
- 不明(10)

●世帯人数

	n=	456
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
1人	45	9.9
2人	128	28.1
3人	100	21.9
4人	73	16.0
5人	38	8.3
6人	40	8.8
7人	15	3.3
8人	4	0.9
9人	1	0.2
10人	0	0.0
無回答	12	2.6
計	456	100.0



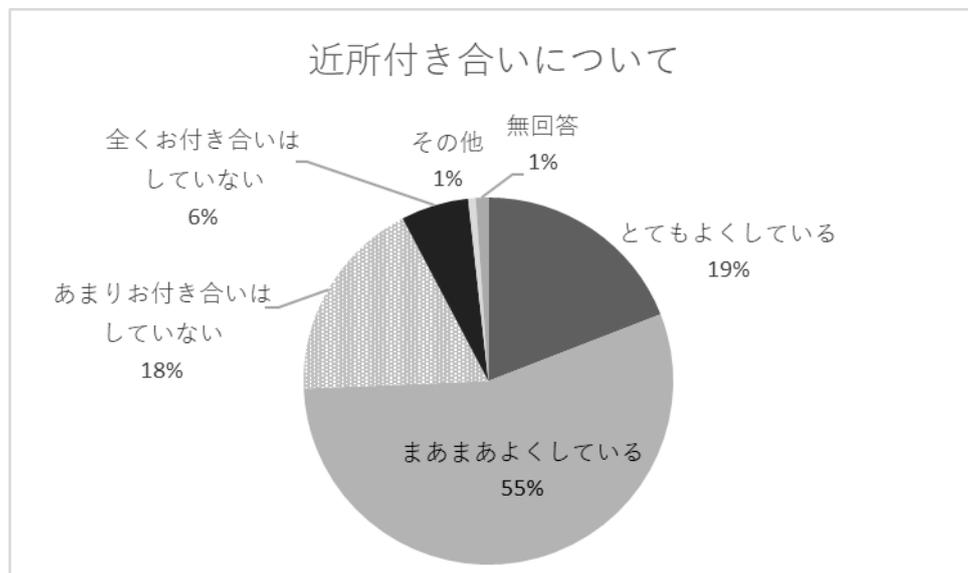
### 3. 地域（ご近所）について

問1 あなたは、地域（ご近所）の方とお付き合いをしていますか。【〇は1つ】

①とてもよくしている	②まあまあよくしている
③あまりお付き合いはしていない	④まったくお付き合いはしていない
⑤その他（	）

近所づきあいの状況は、「とてもよくしている」、「まあまあよくしている」2つを合わせると、7割を超えています。一方、「全くお付き合いはしていない」との回答も約6%あります。

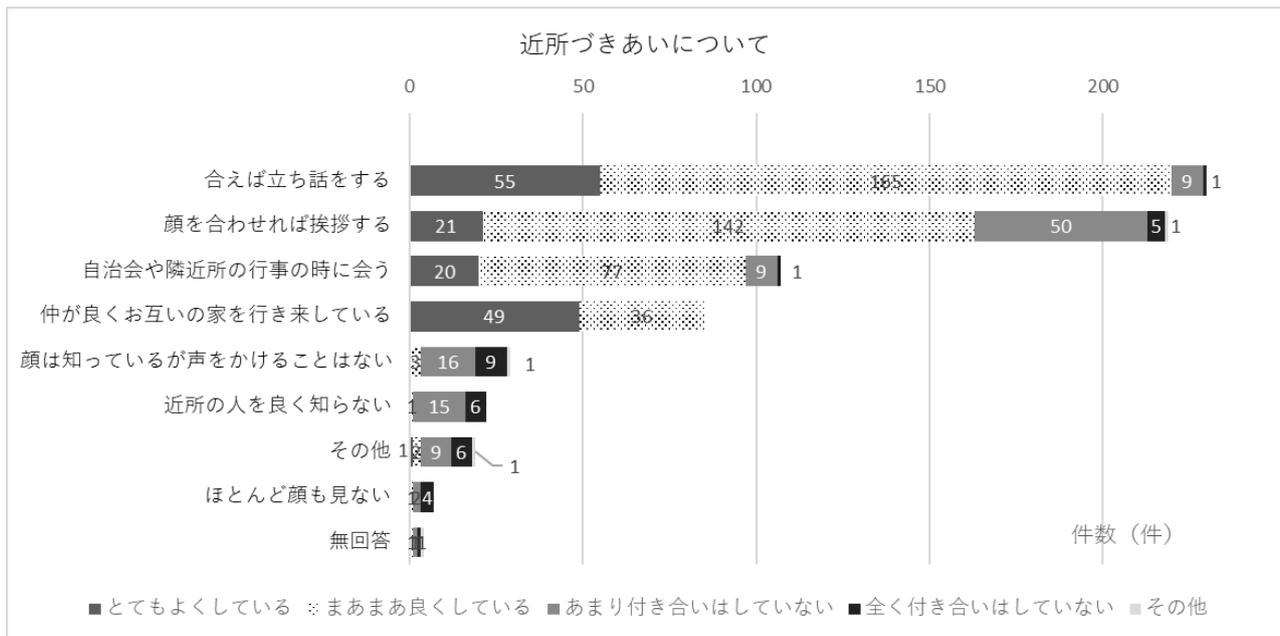
選択肢	件数（件）	割合（%）
とてもよくしている	87	19.1
まあまあよくしている	252	55.3
あまりお付き合いはしていない	82	18.0
全くお付き合いはしていない	27	5.9
その他	3	0.7
無回答	5	1.1
計	456	100.0



#### その他の回答（抜粋）

- ・家に閉じこもっているだけ？（80歳以上・女性・年金生活者）
- ・軽米町健康福祉課に話してある。（60代・男性・年金生活者）
- ・人の悪口や噂話をする人たちばかりで関わりたくない。（40代・女性・パート/アルバイト）





その他の回答（抜粋）

●当たり前

- ・ 当たり前のことだから：60代男性、年金生活者1件。

●外出の機会

- ・ 外出しない（できない）：60代、80代以上の女性、無職または年金生活者3件。

●会う機会

- ・ 会う機会がない（少ない）：30代男女、70代男性、会社員または無職3件

●生活の場が別になっている

- ・ 出稼ぎをしているため。（30代・男性・会社員）
- ・ 施設にいるから。（80歳以上・男性・無職）

●コミュニケーションへの課題

- ・ 他人とコミュニケーションをとれない。（60代・男性・その他職業）
- ・ 不快な思いをするので避けている。（40代・女性・パート/アルバイト）



問4 あなたは毎日の暮らしの中で、どのような心配ごとをお持ちですか。

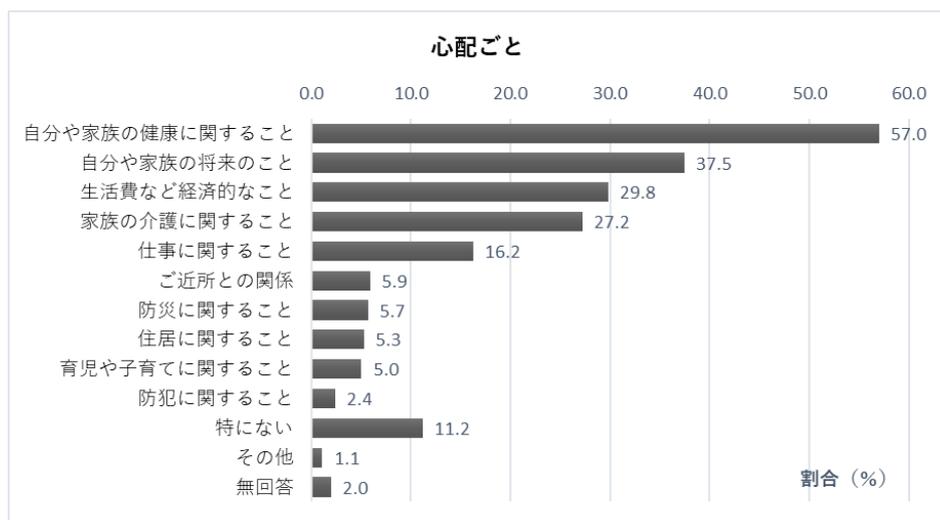
- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| ①自分や家族の健康に関すること | ②家族の介護に関すること  |
| ③仕事に関すること       | ④生活費など経済的なこと  |
| ⑤ご近所との関係        | ⑥育児や子育てに関すること |
| ⑦自分や家族の将来のこと    | ⑧住居に関すること     |
| ⑨防犯に関すること       | ⑩防災に関すること     |
| ⑪特にない           | ⑫その他（ ）       |

心配ごとの内容についてたずねたところ、最も多かった回答が「自分や家族の健康に関すること」で57%を占めています。次いで「自分や家族の将来のこと」が37.5%、「生活費など経済的なこと」が29.8%、「家族の介護に関すること」27.2%となっています。

自分や家族の健康（介護含む）や将来のこと（経済的な面も含む）への心配があることがみられます。心配ごとなどが「特にない」との回答も1割ほどみられています。

その他の回答からは、将来への漠然としたまたは大きなくくりでの不安や多様性の尊重にもつながる偏見の解消を願う意見もみられています。

選択肢	n= 456	
	件数（件）	割合（%）
自分や家族の健康に関すること	260	57.0
自分や家族の将来のこと	171	37.5
生活費など経済的なこと	136	29.8
家族の介護に関すること	124	27.2
仕事に関すること	74	16.2
ご近所との関係	27	5.9
防災に関すること	26	5.7
住居に関すること	24	5.3
育児や子育てに関すること	23	5.0
防犯に関すること	11	2.4
特にない	51	11.2
その他	5	1.1
無回答	9	2.0



その他の回答（抜粋）

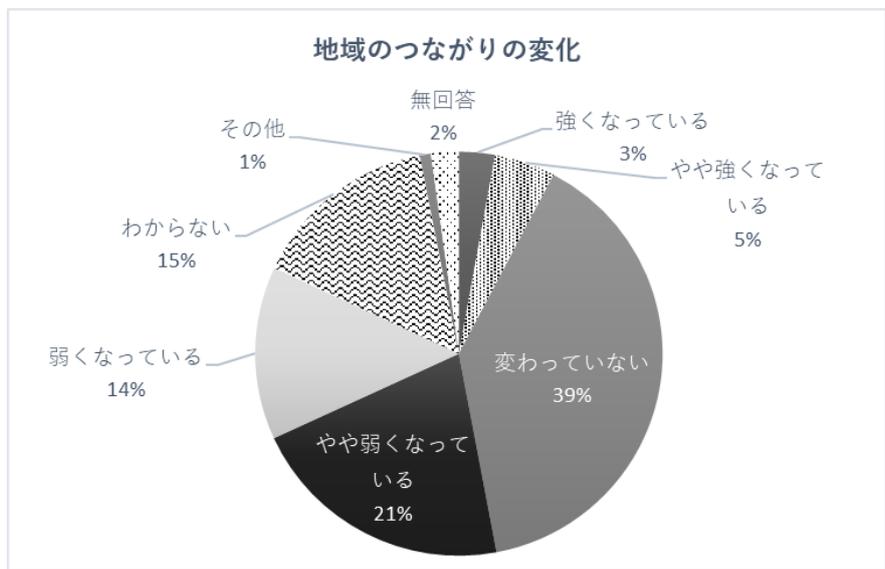
- いえない。（50代・男性・職業不明）
- 親戚の事。（50代・女性・自営業）
- 社会の行末。（60代・不明・自営業）
- 差別、偏見。（40代・女性・パート/アルバイト）

問5 あなたは今住んでいる地域のつながりが、以前と比べてどのようになっていると感じますか。【〇は1つ】

- ①強くなっている      ②やや強くなっている      ③変わっていない  
 ④やや弱くなっている      ⑤弱くなっている      ⑥わからない  
 ⑦その他 ( )

地域のつながりの変化については、以前と比べて「変わっていない」との回答が39.3%と最も多く、次いで「やや弱くなっている」21.1%、「わからない」14.7%となっています。地域のつながりが「強くなっている」と感じている人も7%ほどあるものの、「弱くなっている」と感じている傾向がみられます。

選択肢	n= 456	
	件数 (件)	割合 (%)
強くなっている	13	2.9
やや強くなっている	22	4.8
変わっていない	179	39.3
やや弱くなっている	96	21.1
弱くなっている	63	13.8
わからない	67	14.7
その他	5	1.1
無回答・重複回答	11	2.4
計	456	100.0



その他の回答 (抜粋)

- ・なくなった。(50代・男性・職業不明)
- ・まったくない。(50代・男性・会社員)
- ・話してある。(60代・男性・年金生活者)
- ・昔から安心して付き合える人はいない。(40代・女性・パート/アルバイト)

## 4. 地域の活動への参加について

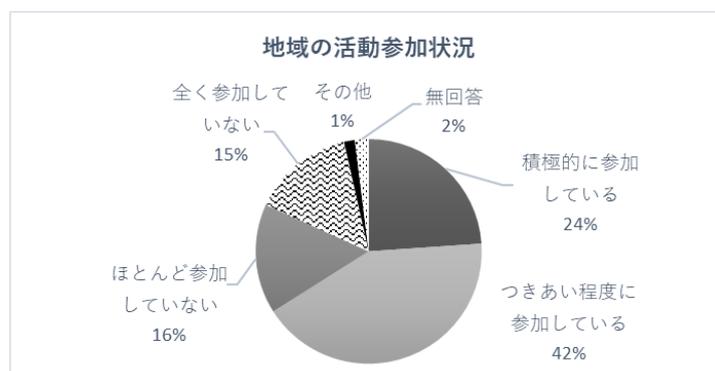
問6 あなたは、地域団体（町内会・行政区など）の活動にどの程度参加されていますか。【〇は1つ】

①積極的に参加している	②つきあい程度に参加している
③ほとんど参加していない	④全く参加していない
⑤その他（	）

地域活動への参加状況をたずねたところ、「積極的に参加している」23.9%、「つきあい程度に参加している」42.1%で、合わせて66%を占めています。反面、「ほとんど参加していない」15.8%、「全く参加していない」14.7%で、3割の方は地域活動への参加がない現状がみられます。

自由記述の回答内容を見ると、体が不自由などの「身体的理由」で参加できないことや、「家族の介護」で地域活動への参加には制約があるとの回答がみられています。また、転入して間もないため、参加ができていないとの声もみられます。

	n= 456	
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
積極的に参加している	109	23.9
つきあい程度に参加している	192	42.1
ほとんど参加していない	72	15.8
全く参加していない	67	14.7
その他	7	1.5
無回答	9	2.0
計	456	100.0



### その他の回答（抜粋）

#### ●身体的理由で参加できない

- ・腰曲がり、手の感覚が不自由なため行けない。（70代・不明・年金生活者）
- ・参加したい気持ちがあるけれど、体が不自由なため参加できなく残念です。（60代・女性・無職）

#### ●家族の介護で制約がある

- ・介護しているので自分のできることに参加している。（60代・女性・専業主婦）

#### ●その他

- ・奉仕活動には参加している。（50代・女性・自営業）
- ・転入2か月未満なので全く参加していない。（60代・男性・自営業）



その他の回答（抜粋）

●参加できない理由がある

◆健康面（身体的理由）：60代～80代以上の男女、無職または年金生活者など9件

- ・高齢と障害者のため参加できない。（80歳以上・男性・無職）
- ・健康面で参加できる状態ではないから参加できない。（80歳以上・女性・無職）
- ・体は思うように動けないのでほどほどに参加したい。（70代・男性・無職）

◆高齢のため：80代以上の男女、年金生活者2件

- ・これからは年齢的に参加できないと思う。現在94歳。（80歳以上・男性・年金生活者）

◆家事で忙しい、余裕がない：30代、60代、70代の男女、自営業や会社員など3件

- ・介護しなければならぬ人がいるため家を空けられない。（70代・男性・年金生活者）
- ・子育てでそれどころではないのが本音。でも参加はする。（30代・女性・会社員）

◆仕事の都合：20代、50代、70代の男女、会社員や自営業など3件

- ・町内で仕事をしているわけではないので休みが重なれば参加する。（20代・男性・会社員）
- ・仕事が不規則のため、参加できないことが多い。（50代・男性・会社員）

◆施設入所

- ・施設にいるので参加できない。（80歳以上・男性・無職）

●その時に応じて考えたい

- ・声がかかったら、参加するか検討したい。（20代・男性・パート/アルバイト）
- ・参加するメンバーで判断したい。（50代・女性・自営業）

●その他の意見

- ・地域活動は依頼されて参加するものではない。（60代・男性・年金生活者）
- ・関心がないわけではないが、距離を置きたい。（40代・女性・パート/アルバイト）

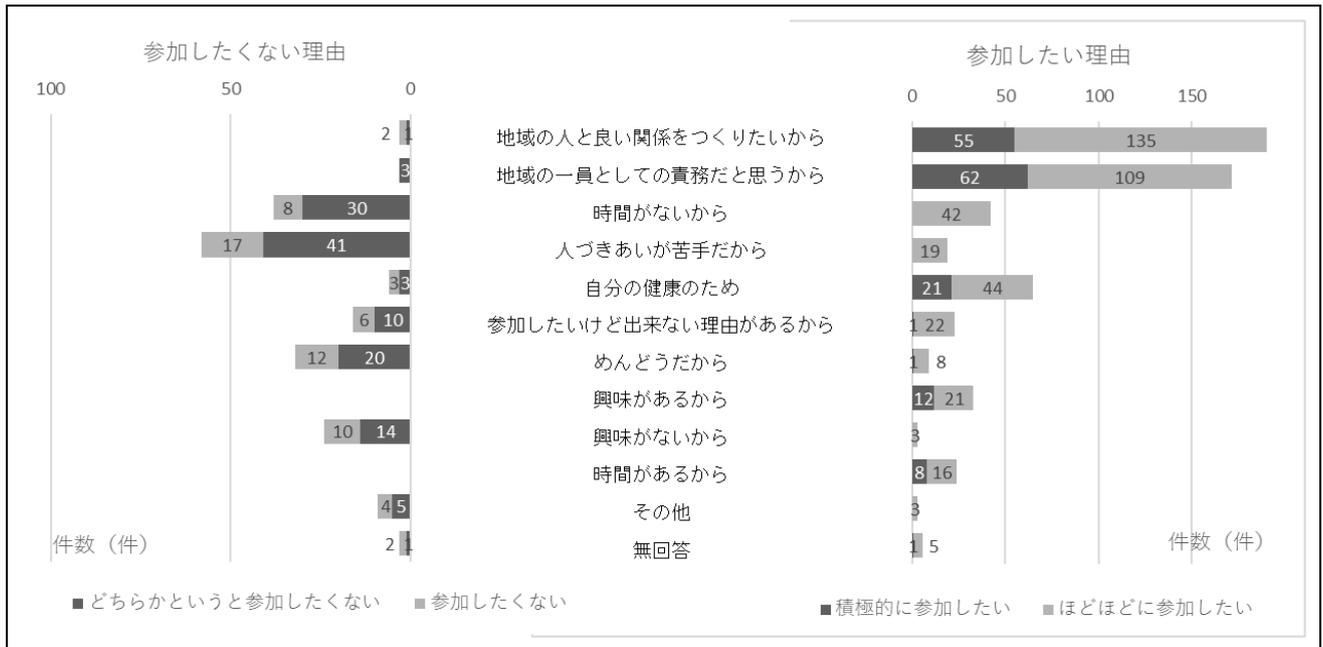
問8 問7でそう思うのはどのような理由からですか。【〇は3つまで】

- ①地域の一員としての責務だと思うから ②地域の人と良い関係をつくりたいから  
 ③興味があるから ④時間があるから ⑤自分の健康のため  
 ⑥参加したいけどできない理由があるから ⑦人づきあいが苦手だから  
 ⑧時間がないから ⑨興味がないから ⑩めんどうだから  
 ⑪その他 ( )

地域活動への参加意向の理由をたずねたところ、「参加したい」理由として「積極的に参加したい」中では「地域の一員としての責務だと思うから」が最も多く該当者の76.5%の回答を得ました。「ほどほどに参加したい」中では「地域の人と良い関係をつくりたいから」が最も多く、該当者の60.3%を占めています。どちらも、地域の人との良好な関係と地域の一員としての役割意識が高くなっています。また、「積極的に参加したい」中には「自分の健康のため」との回答も25.9%と高く、地域活動と健康を関連付けていることがうかがえました。

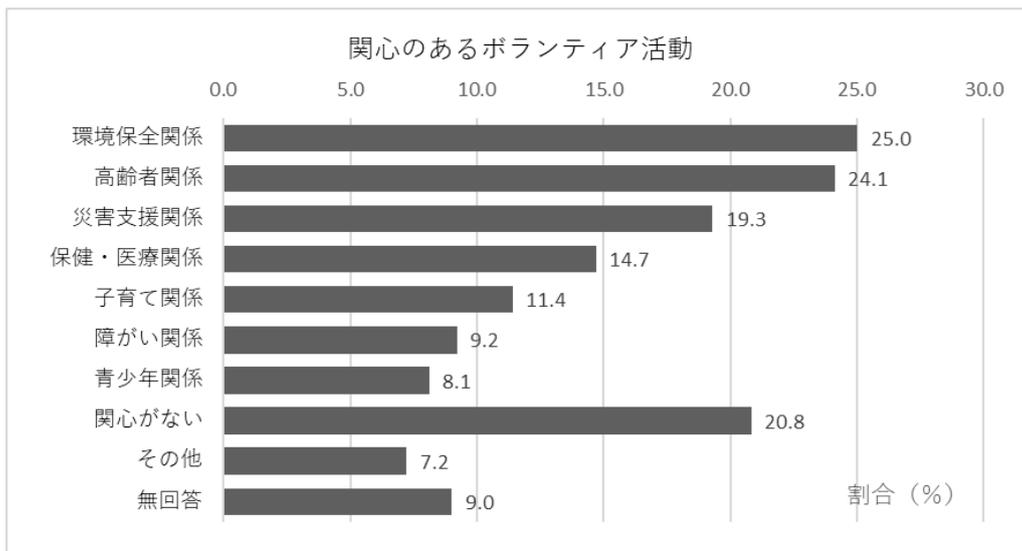
一方、「どちらかというに参加したくない」、「参加したくない」と回答した理由として、「人づきあいが苦手だから」をあげる人が多くみられます。また「時間がないから」との回答割合も上位にあり、参加しやすい環境づくりは今後の検討課題と思われます。さらに、参加意向のない方では半数以上が「めんどうだから」と思っています。「興味がないから」との回答も4割を超えてみられています。

選択肢	n= 446											
	積極的に参加したい n=81		ほどほどに参加したい n=224		どちらかというに参加したくない n=73		参加したくない n=40		その他 n=28		計	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
地域の人と良い関係をつくりたいから	55	(67.9)	135	(60.3)	1	(1.4)	2	(5.0)	2	(7.1)	195	(43.7)
地域の一員としての責務だと思うから	62	(76.5)	109	(48.7)	3	(4.1)	0	(0.0)	4	(14.3)	178	(39.9)
時間がないから	0	(0.0)	42	(18.8)	30	(41.1)	8	(20.0)	6	(21.4)	86	(19.3)
人づきあいが苦手だから	0	(0.0)	19	(8.5)	41	(56.2)	17	(42.5)	1	(3.6)	78	(17.5)
自分の健康のため	21	(25.9)	44	(19.6)	3	(4.1)	3	(7.5)	4	(14.3)	75	(16.8)
参加したいけど出来ない理由があるから	1	(1.2)	22	(9.8)	10	(13.7)	6	(15.0)	8	(28.6)	47	(10.5)
めんどうだから	1	(1.2)	8	(3.6)	20	(27.4)	12	(30.0)	1	(3.6)	42	(9.4)
興味があるから	12	(14.8)	21	(9.4)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(3.6)	34	(7.6)
興味がないから	0	(0.0)	3	(1.3)	14	(19.2)	10	(25.0)	1	(3.6)	28	(6.3)
時間があるから	8	(9.9)	16	(7.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	24	(5.4)
その他	0	(0.0)	3	(1.3)	5	(6.8)	4	(10.0)	7	(25.0)	19	(4.3)
無回答	1	(1.2)	5	(2.2)	1	(1.4)	2	(5.0)	9	(32.1)	18	(4.0)



- その他の回答（抜粋）
- 健康面（身体的理由）：40代、70代、80代以上の男女、自営業や無職など6件
    - ・歩くのが不自由だから。（80歳以上・不明・無職）
  - 高齢のため：70代、80代以上の男女、自営業や年金生活者など4件
    - ・これからは年齢的に参加できないと思う。現在94歳。（80歳以上・男性・年金生活者）
  - 家事で忙しい、大変、余裕がない：30代、50代、60代の女性、会社員、パートなど3件
    - ・自宅で介護しているのでできません。（60代・女性・専業主婦）
    - ・家のことで忙しい。せっかくの日曜は家族で時間を使いたい。（30代・女性・会社員）
  - 仕事の都合
    - ・活動日のほとんどが日曜日で休みが合わないから。（30代・男性・会社員）
  - 活動内容によって判断：30代、50代の女性、自営業やパート2件





その他の回答（抜粋）

●参加できない理由がある

◆身体的理由（健康面）：50代～80代以上の男女、無職、年金生活者など6件

- ・病気とけがのため参加できない。（50代・男性・無職）
- ・関心はあるけど身体の調子が良くない。（70代・男性・無職）

◆高齢

- ・高齢なのでできません。（70代・女性・年金生活者）

◆仕事の都合

- ・いろいろなボランティア活動があるが、仕事上参加できない。（50代・女性・自営業）
- ・生活のため仕事をしているので関心はありますが参加できません。（70代・女性・自営業）

◆余裕がない：60代、70代女性、自営業や無職4件

- ・関心はあるけど時間がない。（70代・女性・自営業）
- ・自分自身のことで精一杯です。（70代・女性・無職）

◆自分にできることはない：60代、70代の女性、専業主婦、無職など3件

- ・自分にできそうな活動内容がない。（70代・女性・無職）
- ・ボランティアには関心があるが現在自分は何もできません。（60代・女性・専業主婦）

●わからない、考えたことがない：50代～80代以上の男女、会社員や年金生活者など4件

- ・現時点で現実味がないため考えたことがない。（50代・男性・公務員/団体職員）
- ・関心がないわけではないけど、自分に何ができるかわからない。（60代・不明・会社員）

●都合の良いときだけ参加

- ・自分の仕事があるから都合の良いときだけ。（80歳以上・男性・年金生活者）

●近所のたすけあい

- ・たすけあい。近所。（60代・男性・自営業）

●食生活

- ・食生活。（80歳以上・女性・年金生活者）
- ・時々ボランティアをしています（食生活改善の活動にて）。車の免許がないので思うように移動できない。（60代・女性・自営業）



その他の回答（抜粋）

●中身が大事

- ・形式や体制でなく、中身だと思います。（60代・男性・自営業）
- ・⑦について→どのようなボランティアが必要なのか、どの程度、どんな人を頼みたいのかもはっきりさせる。（50代・女性・公務員/団体職員）

●ボランティアができる人、出来ない人

- ・ボランティアは自分の体力や経済、心にも余裕がないとできないし、それがないと他人に迷惑のかかることだと思う。（60代・女性・自営業）
- ・仕事をしている人がほとんど。平日は無理だと思う。（40代・女性・職業不明）

●ボランティアのイメージを変える取組

- ・ボランティア=奉仕活動というイメージを変える。ボランティアではなく得意とすることを情報収集、登録などをして発揮する場の提供、求める等。③と④は強制的な感じがして普及につながらない。（30代・女性・パート/アルバイト）
- ・ボランティア活動の情報提供を積極的に行い、人材は無料とせず、団体なら活動資金、個人参加であったら商品券などを差し上げたりする。その資金は寄付で賄う。寄付した金額を町に貯金したことにして、その分税金を安くしてくれると納税の時に助かる。（60代・女性・自営業）

●行政の姿勢

- ・行政の積極的姿勢。（50代・男性・会社員）

●自分には出来ない

- ・ボランティアに出られない。（70代・男性・自営業）
- ・年をとっているからやりたいけど出来ない。（80歳以上・女性・年金生活者）
- ・体が痛くて歩けない。遠くには。（80歳以上・女性・職業不明）

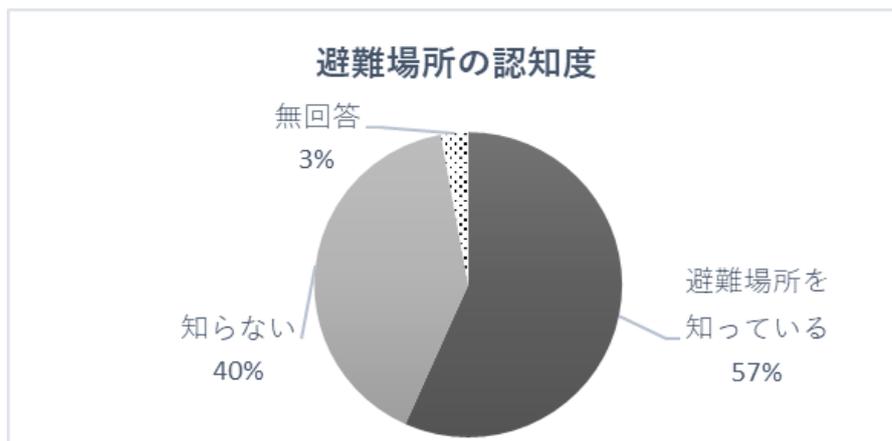
## 5. 災害時に備えた地域づくりについて

問11 あなたは、緊急災害時の避難場所を知っていますか。【〇は1つ】

①避難場所を知っている      ②知らない

災害時に備えた地域づくりとして、避難場所の認知度をたずねたところ、「避難場所を知っている」と回答した人の割合は56.7%でした。また、「知らない」と回答した人は40.4%で、避難場所を知らない人が4割存在することがうかがえました。

	n= 455	
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
避難場所を知っている	258	56.7
知らない	184	40.4
無回答	13	2.9
計	455	100.0
※重複回答	1	



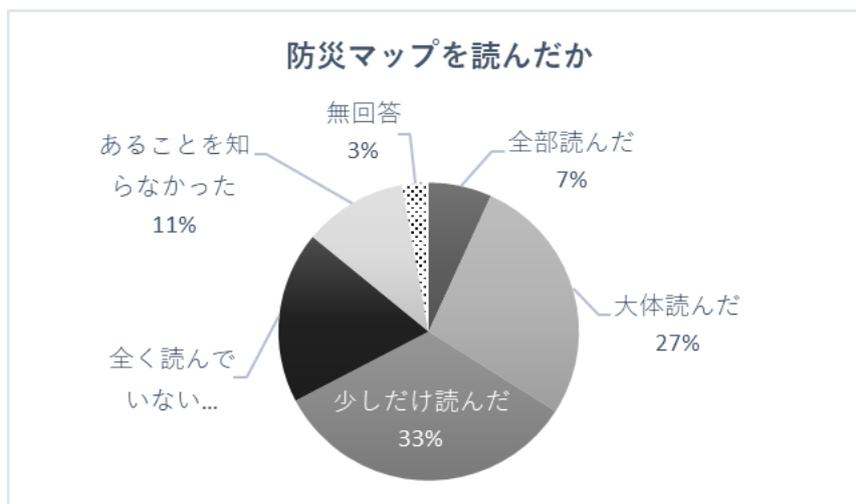
問12 町で作成し平成28年に全世帯に配布した「軽米町防災マップ」を読んでいますか。【〇は1つ】

- ①全部読んだ ②大体読んだ ③少しだけ読んだ ④全く読んでいない  
 ⑤あることを知らなかった

町で作成した「軽米町防災マップ」の活用度について、どの程度読まれているかがいました。

回答は、「全部読んだ」6.8%、「大体読んだ」27.2%で、3割強の人が大体読んでいました。少しだけ読んだ人も3割ほどで、あわせると6割強の住民は目を通してしています。しかし、「全く読んでいない」との回答も18.6%と2割近くを占めていますし、1割の人は「あることを知らなかった」と回答しています。

選択肢	n= 456	
	件数 (件)	割合 (%)
全部読んだ	31	6.8
大体読んだ	124	27.2
少しだけ読んだ	152	33.3
全く読んでいない	85	18.6
あることを知らなかった	51	11.2
無回答	13	2.9
計	456	100.0



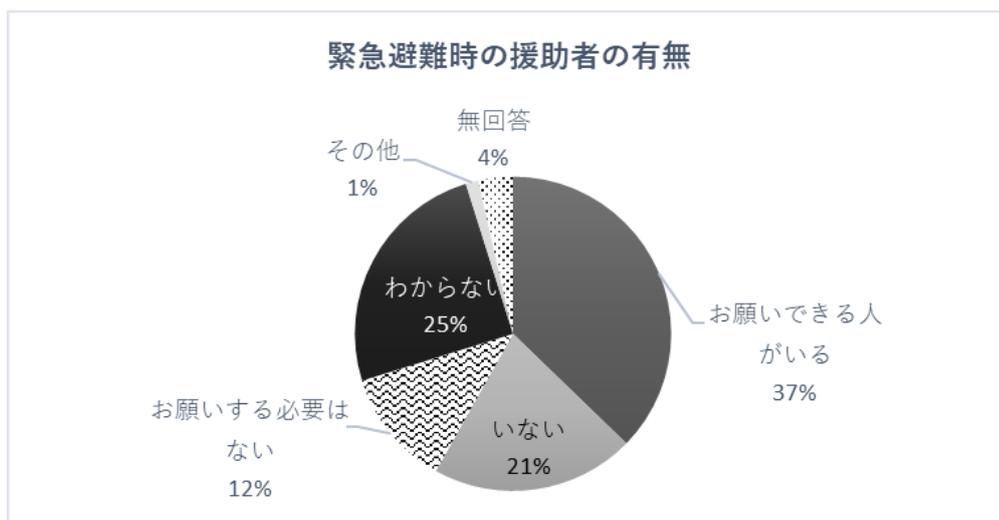
問13 緊急災害時に、避難の手助けをお願いできる近所の人がありますか。【〇は1つ】

- ①お願いできる人がいる ②いない ③お願いする必要はない ④わからない  
⑤その他（ ）

緊急災害時に避難の手助けをお願いできる人の存在をたずねたところ、「お願いできる人がいる」と回答した人は4割弱にとどまっています。また、「いない」と回答した人は20.8%、「わからない」との回答は25.0%で、「お願いできる人がいる」割合よりも「いない」もしくは「わからない」人の割合が高くなっています。一方、「お願いする必要はない」との回答も12.1%みられます。

その他の回答では、30代や50代では、「若いから頼れない」や「手伝う側だと思っている」との意見がみられます。また、「簡単には頼めない」、「自分の事は自分で」との回答もみられています。

	n=	456
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
お願いできる人がいる	170	37.3
いない	95	20.8
お願いする必要はない	55	12.1
わからない	114	25.0
その他	6	1.3
無回答	16	3.5
計	456	100.0



その他の回答（抜粋）

- 自分は助ける側の世代という意識
  - ・近所は自分より高齢者が多いため。（60代・女性・無職）
  - ・（今のところ）むしろお手伝いをする側だと思っている。（50代・女性・自営業）
  - ・若いから頼れない。（30代・女性・会社員）
- 自分の事は自分で行う
  - ・自分の事は自分で判断しようと思っている。（70代・不明・自営業）
  - ・人的余裕がないのでお互いに自分の事は自分でする。（80歳以上・女性・無職）
  - ・簡単には頼めない。（60代・男性・年金生活者）
  - ・自分で避難できると思っている。（70代・女性・自営業）

問14 緊急災害時のことを考えると、心配に思いますか。 【〇は1つ】

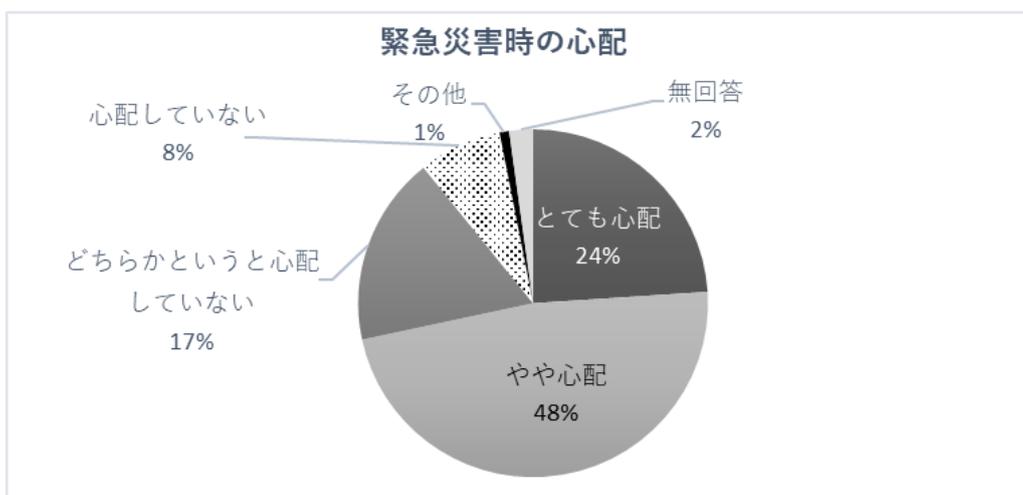
- ①とても心配 ②やや心配 ③どちらかという心配していない ④心配していない  
⑤その他（ ）

緊急災害時の心配の度合いをたずねました。その結果、「とても心配」24.0%、「やや心配」47.7%で7割以上の回答者が、心配に思っています。

一方、「どちらかという心配していない」17.6%、「心配していない」7.7%、合わせて、25.3%が心配していないことがうかがえます。

その他の回答では、「わからない」や「考えたことがない」などの回答がみられました。

選択肢	件数 (件)	割合 (%)
とても心配	109	24.0
やや心配	217	47.7
どちらかという心配していない	80	17.6
心配していない	35	7.7
その他	4	0.9
無回答	10	2.2
計	455	100.0
※重複回答	1	



その他の回答（抜粋）

- ・わからない。(80歳以上・不明・年金生活者)
- ・考えたことがない。(50代・男性・公務員/団体職員)
- ・緊急災害時は人の世話はする時間がないと思う。(60代・男性・自営業)
- ・自分で対処する。(70代・不明・その他職業)

問15 問14でそのように思う理由はなんですか。

【〇はいくつでも】

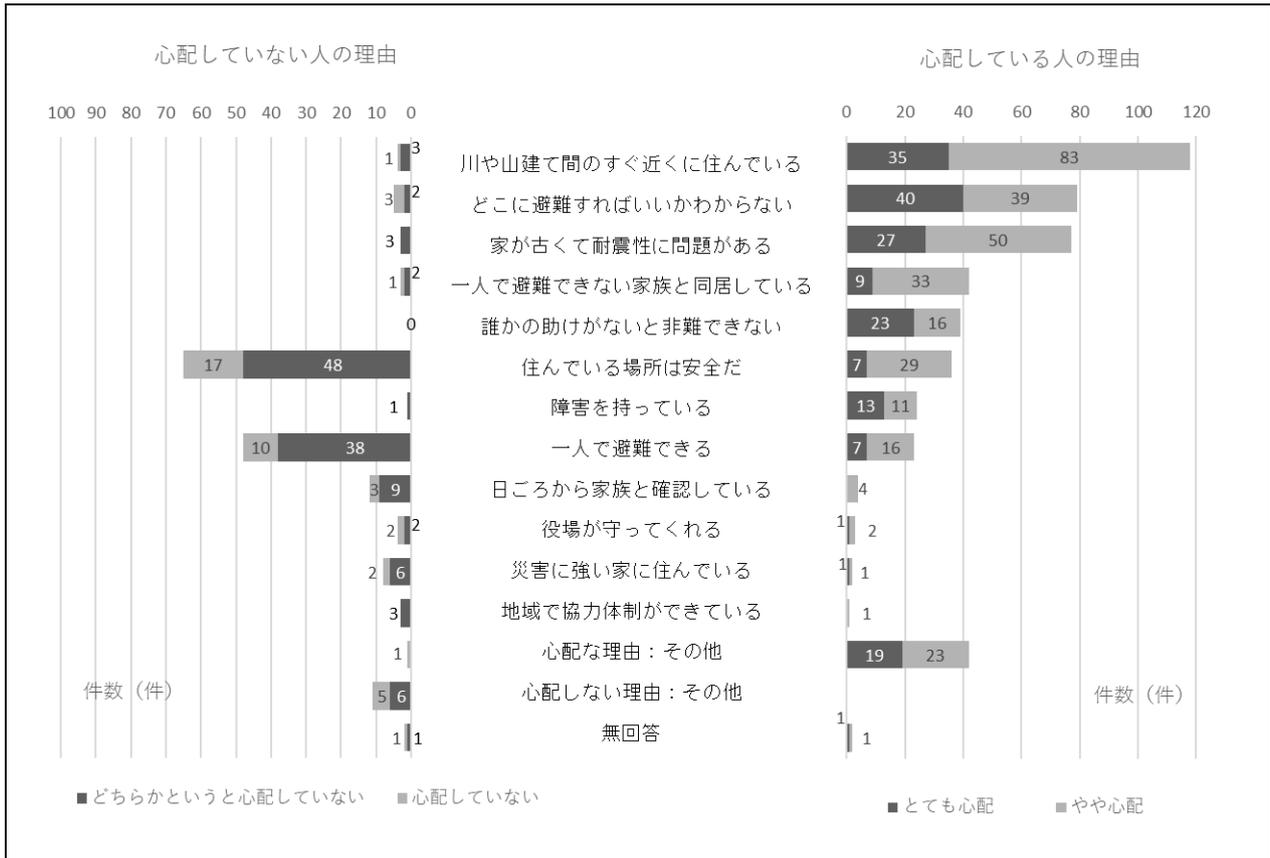
心配な理由	心配していない理由
①誰かの助けがないと避難できないから	⑧一人で避難できるから
②どこに避難すればいいかわからないから	⑨地域で協力体制ができていないから
③川や山のすぐ近くに住んでいるから	⑩住んでいる場所は安全だと思うから
④家が古くて耐震性に問題があるから	⑪災害に強い家に住んでいるから
⑤一人で避難できない家族と同居しているから	⑫日ごろから家族と災害時の行動について確認しているから
⑥障害を持っているから	⑬役場が守ってくれるから
⑦その他 ( )	⑭その他 ( )

緊急災害時の心配の理由をたずねたところ、「とても心配」な人では「どこに避難すればいいかわからない」との回答が最も多く36.7%でした。また、「やや心配」の人では「川や山のすぐ近くに住んでいる」が最も多く38.2%で、両方合わせると、「川や山のすぐ近くに住んでいる」36.2%、「どこに避難すればいいかわからない」24.2%、「家が古くて耐震性に問題がある」23.6%と続いています。

一方、「どちらかという心配していない」と「心配していない」では、「住んでいる場所は安全だ」56.5%、「一人で避難できる」41.7%との理由が多くみられています。

その他の回答からは、「体の不自由な高齢者」や「子供がいる」ことで避難時の心配があるとの回答や、「自分自身の体が不自由」なこと、「過去に水害に遇っている」ことや「最近の災害ははんぱない」と予測不能の不安もみられます。また、「心配していない」人からの回答では、「何とかなる」との楽観的回答や「あきらめている」「しかたのないこと」など悲観的な回答がみられるほか、「その時になってみないとわからない」との回答もありました。「日ごろからの付き合いで近所との協力関係ができていないから」との回答もありました。

選択肢	とても心配 n=109		やや心配 n=217		どちらかという 心配していない n=80		心配していない n=35		その他 n=4		計	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
川や山のすぐ近くに住んでいる	35	(32.1)	83	(38.2)	3	(3.8)	1	(2.9)	0	(0.0)	122	(27.4)
どこに避難すればいいかわからない	40	(36.7)	39	(18.0)	2	(2.5)	3	(8.6)	0	(0.0)	84	(18.9)
家が古くて耐震性に問題がある	27	(24.8)	50	(23.0)	3	(3.8)	0	(0.0)	0	(0.0)	80	(18.0)
一人で避難できない家族と同居している	9	(8.3)	33	(15.2)	2	(2.5)	1	(2.9)	0	(0.0)	45	(10.1)
誰かの助けがないと非難できない	23	(21.1)	16	(7.4)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	39	(8.8)
住んでいる場所は安全だ	7	(6.4)	29	(13.4)	48	(60.0)	17	(48.6)	1	(25.0)	102	(22.9)
障害を持っている	13	(11.9)	11	(5.1)	1	(1.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	25	(5.6)
一人で避難できる	7	(6.4)	16	(7.4)	38	(47.5)	10	(28.6)	0	(0.0)	71	(16.0)
日ごろから家族と確認している	0	(0.0)	4	(1.8)	9	(11.3)	3	(8.6)	0	(0.0)	16	(3.6)
役場が守ってくれる	1	(0.9)	2	(0.9)	2	(2.5)	2	(5.7)	0	(0.0)	7	(1.6)
災害に強い家に住んでいる	1	(0.9)	1	(0.5)	6	(7.5)	2	(5.7)	0	(0.0)	10	(2.2)
地域で協力体制ができていない	0	(0.0)	1	(0.5)	3	(3.8)	0	(0.0)	0	(0.0)	4	(0.9)
心配な理由：その他	19	(17.4)	23	(10.6)	0	(0.0)	1	(2.9)	2	(50.0)	45	(10.1)
心配しない理由：その他	0	(0.0)	0	(0.0)	6	(7.5)	5	(14.3)	1	(25.0)	12	(2.7)
無回答	1	(0.9)	1	(0.5)	1	(1.3)	1	(2.9)	1	(25.0)	5	(1.1)



その他の回答（心配な理由）（抜粋・要約）

●家族のこと

- ・足が不自由な高齢者がいるので。（60代・女性・自営業）
- ・子供の事。（30代・女性・会社員）
- ・子供が多いから。（30代・女性・会社員）

●最近の災害が想定外

- ・最近では想定外の災害が起きているため。（60代・女性・無職）
- ・いつどんな状況の時に災害におそわれるのかわからないので心配です。（60代・女性・自営業）
- ・どのような災害が起こるか不安。最近の災害は規模が大きい。（60代・女性・パート/アルバイト）

●以前水害に遇っている

- ・前に水害に遇ったから。（50代・女性・会社員）
- ・過去に水害に遇っているから。（40代・女性・パート/アルバイト）

●自身の避難への不安

- ・高齢だから。（80歳以上・女性・無職）
- ・足腰が弱いから。（70代・女性・年金生活者）

●その他

- ・災害時に水の確保が難しいと考えるから。（50代・女性・パート/アルバイト）
- ・山を切り崩していて、土砂災害が発生しやすくなっていると思うから。（30代・女性・会社員）
- ・今後どうしようという思い。（50代・女性・自営業）

その他の回答（心配していない理由）（抜粋）

●困っていない

- ・今のところ特に困っていないから。（50代・男性・無職）

●何とかなる

- ・何とかなると思っている。そうするよう行動する。（50代・女性・会社員）

●あきらめ、なるようにしかならない

- ・あきらめている。（50代・男性・職業不明）
- ・何時死んでもかまわない、軽米町に希望を持ってないから。（40代・男性・会社員）
- ・川のそば、山のそばであるが死ぬときは死ぬ。（30代・女性・会社員）
- ・自分以外が助かればいいと思う。（40代・男性・その他職業）
- ・仕方のない事であるため。（50代・女性・パート/アルバイト）

●その時にならないとわからない

- ・その時になってみないとわからないと思う（緊急ですよ）。（60代・男性・自営業）

●近所で協力できる関係がある

- ・近所で協力体制はできていないが、日ごろからの付き合いで協力できる関係はできているから。（30代・女性・パート/アルバイト）



その他の回答（抜粋）

●避難訓練について

- ・平日の時と休日の時。（50代・女性・公務員/団体職員）
- ・町総体を自主防災づくりに役立つ種目で行ってほしい（タンカーで人を運ぶ、水送り、かりもの競争、綱引きより会話をしなければいけない種目が良い）。（30代・女性・会社員）

●マップ作りについて

- ・項目②は絶対にやめてほしい。今は一人暮らしの高齢者を狙う犯罪が多発しているように思います。この地域は交流があるので話し合ってどうするか考えることができる。（60代・女性・自営業）
- ・子供（小学生未満）が住んでいるマップも必要と考える。（30代・女性・会社員）

●その他

- ・医療関係者の家庭訪問。（30代・女性・会社員）
- ・明確な行政の役割。（50代・男性・会社員）

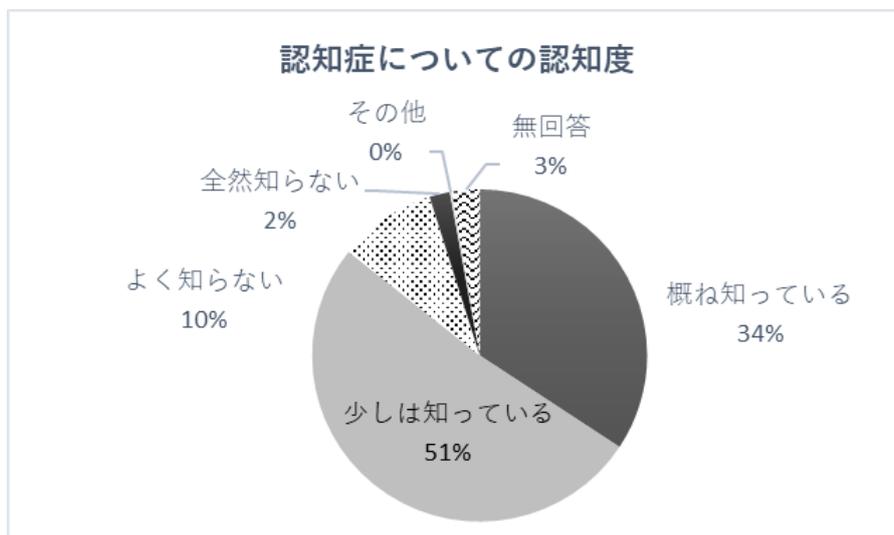
## 6. 地域での見守りや生活支援について

問17 あなたは認知症についてご存じですか。【〇は1つ】

①概ね知っている	②少しは知っている	③よく知らない	④全然知らない
⑤その他 ( )			

認知症について知っているかどうかを、たずねたところ、「概ね知っている」と回答した割合は34.3%でした。また、「少しは知っている」との回答が51.4%で、これらから、約85%の割合で認知症について知っていることがうかがえます。

	n= 455	
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
概ね知っている	156	34.3
少しは知っている	234	51.4
よく知らない	43	9.5
全然知らない	9	2.0
その他	1	0.2
無回答	12	2.6
計	455	100.0
※重複回答	1	



その他の回答 (抜粋)

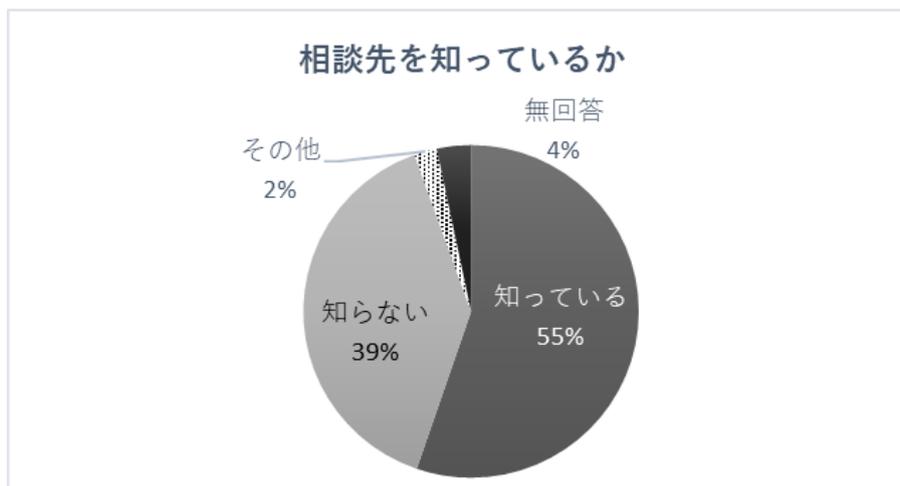
- ・相談先の一つにふれあいセンターと思っていますが合っているかどうか。(70代・女性・無職)

問18 あなたは、認知症のことや介護のことなどで困った時、どこに相談すればよいか知っていますか。【〇は1つ】

①相談先を知っている	②相談先を知らない
③その他（	）

認知症などについての相談先を知っているかたずねたところ、55%の人が「知っている」と回答しています。しかし、「知らない」との回答も4割近くにのぼっています。

	n= 456	
選択肢	件数（件）	割合（%）
知っている	252	55.3
知らない	179	39.3
その他	10	2.2
無回答	15	3.3
計	456	100.0



その他の回答（抜粋）  
 ・よくわからない。（70代・男性・年金生活者）

問19 見守りや生活支援についてあなたのお住いの地域であったほうが良いと思うものはどれですか。

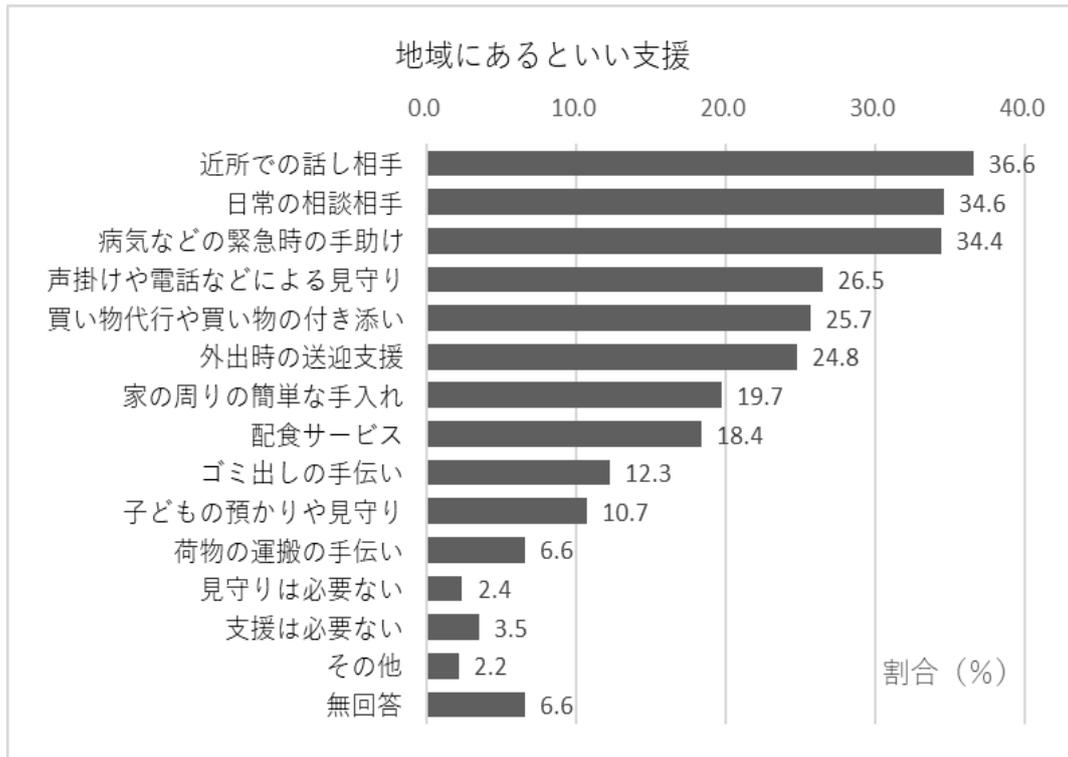
【〇はいくつでも】

- |              |                 |                 |         |
|--------------|-----------------|-----------------|---------|
| ①近所での話し相手    | ②日常の相談相手        | ③買い物代行や買い物の付き添い |         |
| ④子供の預かりや見守り  | ⑤声かけや電話などによる見守り | ⑥ゴミ出しの手伝い       |         |
| ⑦家の周りの簡単な手入れ | ⑧荷物の運搬の手伝い      | ⑨病気などの緊急時の手助け   | ⑩配食サービス |
| ⑪外出時の送迎支援    | ⑫その他（           | ）               |         |
| ⑬見守りは必要ない    | ⑭支援は必要ない        |                 |         |

見守りや生活支援であったほうが良いと思う事柄については、「近所での話し相手」が36.6%と最も多い回答を得ました。次いで、「日常の相談相手」34.6%、「病気などの緊急時の手助け」34.4%となっています。日常から相談出来たり会話ができたりすることを重要視している傾向がみられます。

その他の回答では、「雪かきの手伝い（ボランティア）」との回答や、「手続きが簡単な宿泊支援」、「困ることは確かでも何をということはわからない」との回答がありました。

選択肢	n= 456	
	件数（件）	割合（%）
近所での話し相手	167	36.6
日常の相談相手	158	34.6
病気などの緊急時の手助け	157	34.4
声掛けや電話などによる見守り	121	26.5
買い物代行や買い物の付き添い	117	25.7
外出時の送迎支援	113	24.8
家の周りの簡単な手入れ	90	19.7
配食サービス	84	18.4
ゴミ出しの手伝い	56	12.3
子どもの預かりや見守り	49	10.7
荷物の運搬の手伝い	30	6.6
見守りは必要ない	11	2.4
支援は必要ない	16	3.5
その他	10	2.2
無回答	30	6.6



その他の回答（抜粋）

- 手続きが簡単な宿泊支援。（50代・男性・会社員）
- 困ることは確かでも、よくわかりません。（70代・男性・年金生活者）
- ⑦選択→雪かきボランティア等。（30代・女性・会社員）
- 雪かきなどはしてほしい（高齢者世帯）。（60代・女性・自営業）

問20 あなたは、あなたや家族が困ったとき、地域の人に助けてほしい（支援してほしい）と思いますか。

【〇は1つ】

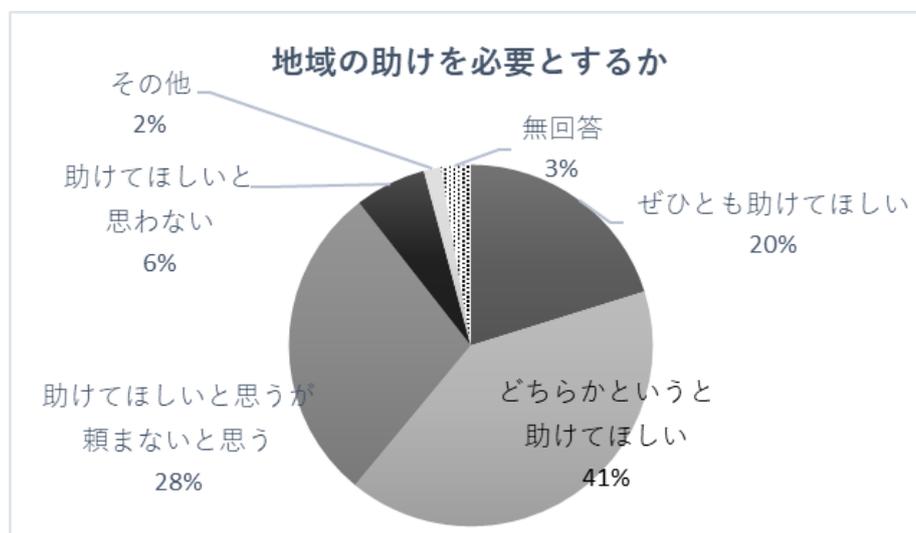
①ぜひとも助けてほしい	②どちらかというと助けてほしい
③助けてほしいと思うが頼まないと思う	④助けてほしいと思わない
⑤その他（	）

困ったときに地域の人々の助けを求めるときをたずねたところ、「ぜひとも助けてほしい」と回答した人の割合は2割にとどまっています。「どちらかというと助けてほしい」との回答が40.8%で、合わせると61%となります。

また、「助けてほしいと思わない」という回答は6.4%、「助けてほしいと思うが頼まないと思う」と回答した人が28.5%の割合で見られました。

その他の回答では、「現に助けていただいたことがあります。本当にありがとうございました」との回答のほか、「どうしたらいいかわからない」との回答もみられています。

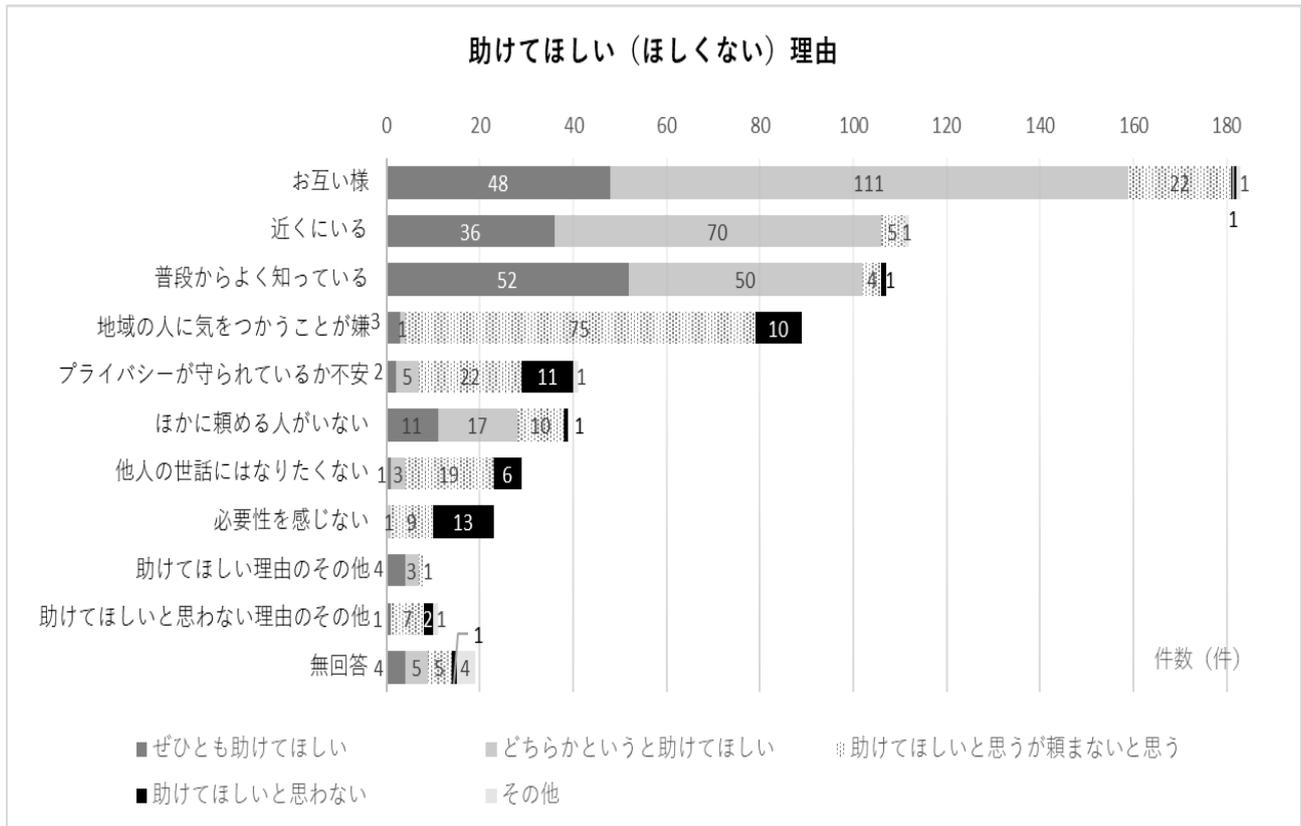
選択肢	件数（件）	割合（%）
ぜひとも助けてほしい	92	20.2
どちらかというと助けてほしい	186	40.8
助けてほしいと思うが頼まないと思う	130	28.5
助けてほしいと思わない	29	6.4
その他	7	1.5
無回答	12	2.6
計	456	100.0



その他の回答（抜粋）

- ・困ったときはお互い様。助けてほしいは当然。手を差し伸べるのも当然のことと思っている。（50代・女性・会社員）
- ・どうしたらいいかわからない。（40代・女性・パート/アルバイト）
- ・現に助けていただいたことがあります。本当にありがとうございました。（60代・女性・自営業）





●その他の回答（助けてほしい理由）（抜粋）

- これはとても難しい問題です。（60代・男性・自営業）
- 近所でお互いに助け合うのが一番自然だと思うからです。（70代・女性・年金生活者）

●その他の回答（助けてほしいと思わない理由）（抜粋）

- 家族のことを相談するとウワサが広がるイメージがする。（30代・女性・パート/アルバイト）
- もし頼むなら町外。ケアが不足しているから。（30代・女性・会社員）
- 病気や障害に対して不慣れであり噂話になりそうだから。（50代・女性・パート/アルバイト）

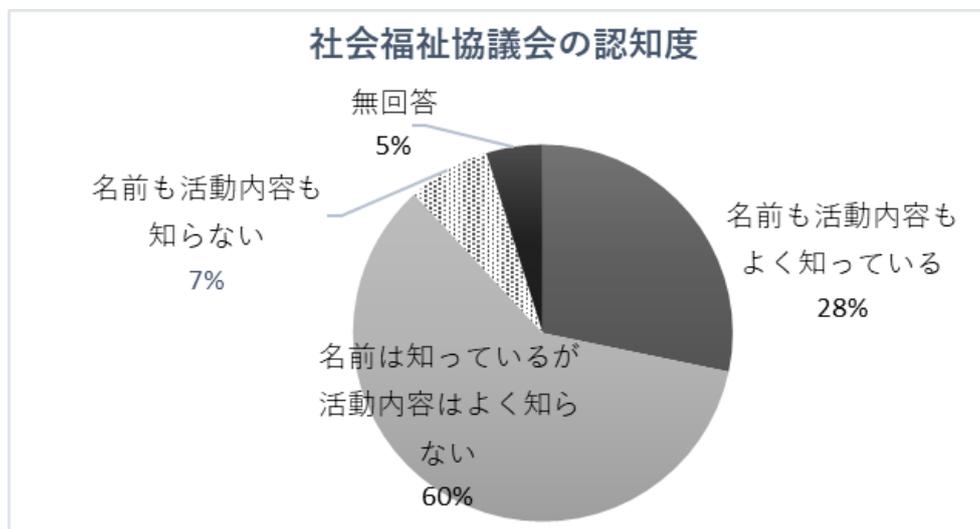
## 7. 社会福祉協議会について

問22 あなたは「軽米町社会福祉協議会」を知っていますか。【〇は1つ】

- ①名前も活動内容もよく知っている
- ②名前は知っているが、活動内容はよく知らない
- ③名前も活動内容も知らない

町の社会福祉協議会の認知度は、「名前を知っている」割合は88.2%と高く、そのうち「活動内容もよく知っている」との回答は28.3%でした。

	n=	456
選択肢	件数 (件)	割合 (%)
名前も活動内容もよく知っている	129	28.3
名前は知っているが活動内容はよく知らない	273	59.9
名前も活動内容も知らない	32	7.0
無回答	22	4.8
計	456	100.0



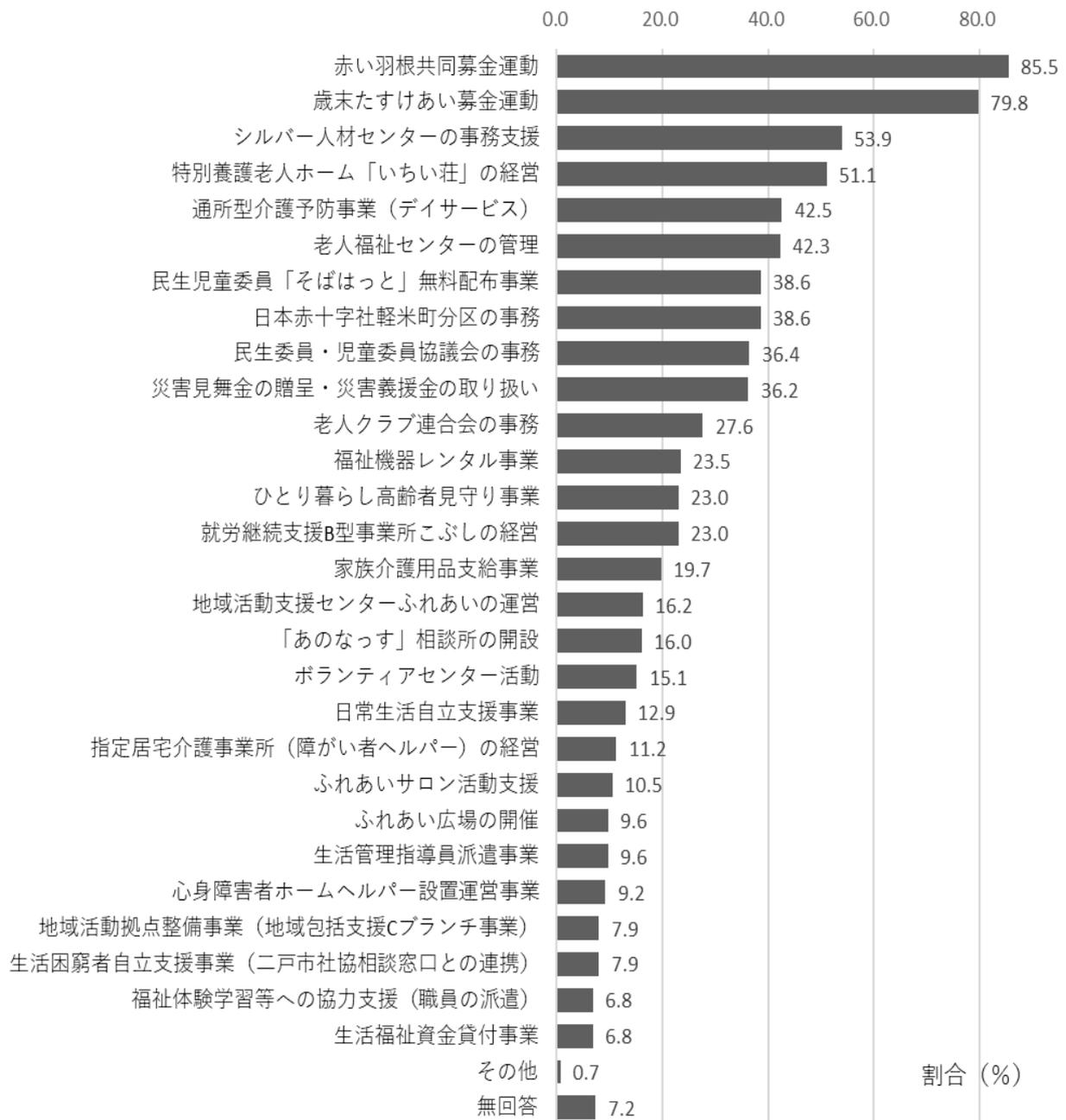
問23 軽米町社会福祉協議会では以下の事業を行っています。あなたが知っている事業や活動はありますか。知っているものに○をつけてください。【○はいくつでも】

町の社会福祉協議会で行っている事業の認知度をうかがったところ、以下の結果となりました。

最も知られている事業は、85.5%の回答があった「赤い羽根共同募金運動」、続いて、79.8%の割合で「歳末たすけあい募金運動」が認知されています。また、「シルバー人材センターの事務支援」が53.9%、「特別養護老人ホーム『いちい荘』の経営」が51.1%で半数以上の割合で認知されています。

選択肢	n= 456	
	件数 (件)	割合 (%)
赤い羽根共同募金運動	390	85.5
歳末たすけあい募金運動	364	79.8
シルバー人材センターの事務支援	246	53.9
特別養護老人ホーム「いちい荘」の経営	233	51.1
通所型介護予防事業（デイサービス）	194	42.5
老人福祉センターの管理	193	42.3
民生児童委員「そばはっと」無料配布事業	176	38.6
日本赤十字社軽米町分区の事務	176	38.6
民生委員・児童委員協議会の事務	166	36.4
災害見舞金の贈呈・災害義援金の取り扱い	165	36.2
老人クラブ連合会の事務	126	27.6
福祉機器レンタル事業	107	23.5
ひとり暮らし高齢者見守り事業	105	23.0
就労継続支援B型事業所こぶしの経営	105	23.0
家族介護用品支給事業	90	19.7
地域活動支援センターふれあいの運営	74	16.2
「あのなっす」相談所の開設	73	16.0
ボランティアセンター活動	69	15.1
日常生活自立支援事業	59	12.9
指定居宅介護事業所（障がい者ヘルパー）の経営	51	11.2
ふれあいサロン活動支援	48	10.5
ふれあい広場の開催	44	9.6
生活管理指導員派遣事業	44	9.6
心身障害者ホームヘルパー設置運営事業	42	9.2
地域活動拠点整備事業（地域包括支援Cランチ事業）	36	7.9
生活困窮者自立支援事業（二戸市社協相談窓口との連携）	36	7.9
福祉体験学習等への協力支援（職員の派遣）	31	6.8
生活福祉資金貸付事業	31	6.8
その他	3	0.7
無回答	33	7.2

### 社会福祉協議会の事業認知度



#### その他の回答（抜粋）

- ・わからない。（80歳以上・不明・年金生活者）
- ・一般的な福祉事業としての名称としては知っているが、具体的な町内の活動等は知らない。（50代・男性・会社員）
- ・①について→募金なのに強制的に名前金額付けて集金に来るのはどうなのか。（30代・女性・会社員）
- ・知らないことの方が多いです。無知な私は、利用する立場になった時あわてて調べたり役場に向けこんだりすると思います。（60代・女性・自営業）

## 8. 地域福祉の推進について

問24 あなたは、次のことについて関心はありますか。

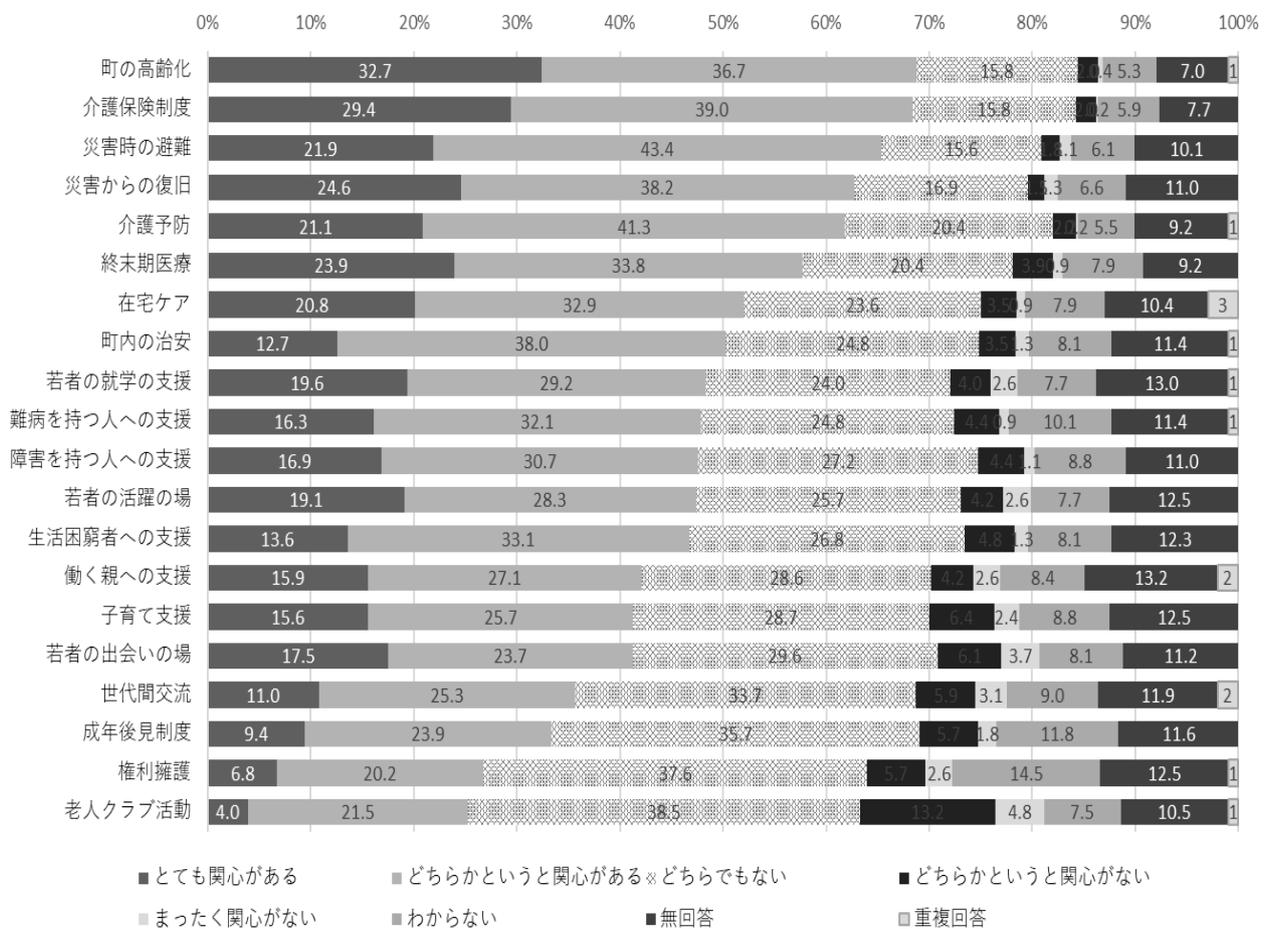
- ① 町の高齢化    ② 介護予防    ③ 介護保険制度（介護サービス含む）  
 ④ 終末期医療    ⑤ 在宅ケア（在宅での看取り含む）  
 ⑥ 老人クラブ活動    ⑦ 子育て支援    ⑧ 働く親への支援  
 ⑨ 若者の就学の支援    ⑩ 若者の活躍の場    ⑪ 若者の出会いの場  
 ⑫ 世代間交流について    ⑬ 障害を持つ人への支援    ⑭ 難病を持つ人への支援  
 ⑮ 生活困窮者への支援    ⑯ 成年後見制度について    ⑰ 権利擁護について  
 ⑱ 町内の治安について    ⑲ 災害時の避難について    ⑳ 災害からの復旧

地域福祉への関心項目をうかがったところ、関心の高かった項目から順に「町の高齢化」、「介護保険制度」、「災害時の避難」、「災害からの復旧」、「介護予防」、「終末期医療」、「在宅ケア」となりました。高齢に伴う諸課題に関する項目と災害に関する項目が多くみられます。

選択肢	とても関心がある		どちらかというに関心がある		どちらでもない		どちらかというに関心がない		まったく関心がない		わからない		無回答		重複回答	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
	n= 456															
町の高齢化	149	(32.7)	167	(36.6)	72	(15.8)	9	(2.0)	2	(0.4)	24	(5.3)	32	(7.0)	1	(0.2)
介護保険制度	134	(29.4)	178	(39.0)	72	(15.8)	9	(2.0)	1	(0.2)	27	(5.9)	35	(7.7)	0	(0.0)
災害時の避難	100	(21.9)	198	(43.4)	71	(15.6)	8	(1.8)	5	(1.1)	28	(6.1)	46	(10.1)	0	(0.0)
災害からの復旧	112	(24.6)	174	(38.2)	77	(16.9)	7	(1.5)	6	(1.3)	30	(6.6)	50	(11.0)	0	(0.0)
介護予防	96	(21.1)	188	(41.2)	93	(20.4)	10	(2.2)	1	(0.2)	25	(5.5)	42	(9.2)	1	(0.2)
終末期医療	109	(23.9)	154	(33.8)	93	(20.4)	18	(3.9)	4	(0.9)	36	(7.9)	42	(9.2)	0	(0.0)
在宅ケア	94	(20.6)	149	(32.7)	107	(23.5)	16	(3.5)	4	(0.9)	36	(7.9)	47	(10.3)	3	(0.7)
町内の治安	58	(12.7)	173	(37.9)	113	(24.8)	16	(3.5)	6	(1.3)	37	(8.1)	52	(11.4)	1	(0.2)
若者の就学の支援	89	(19.5)	133	(29.2)	109	(23.9)	18	(3.9)	12	(2.6)	35	(7.7)	59	(12.9)	1	(0.2)
難病を持つ人への支援	74	(16.2)	146	(32.0)	113	(24.8)	20	(4.4)	4	(0.9)	46	(10.1)	52	(11.4)	1	(0.2)
障害を持つ人への支援	77	(16.9)	140	(30.7)	124	(27.2)	20	(4.4)	5	(1.1)	40	(8.8)	50	(11.0)	0	(0.0)
若者の活躍の場	87	(19.1)	129	(28.3)	117	(25.7)	19	(4.2)	12	(2.6)	35	(7.7)	57	(12.5)	0	(0.0)
生活困窮者への支援	62	(13.6)	151	(33.1)	122	(26.8)	22	(4.8)	6	(1.3)	37	(8.1)	56	(12.3)	0	(0.0)
働く親への支援	72	(15.8)	123	(27.0)	130	(28.5)	19	(4.2)	12	(2.6)	38	(8.3)	60	(13.2)	2	(0.4)
子育て支援	71	(15.6)	117	(25.7)	131	(28.7)	29	(6.4)	11	(2.4)	40	(8.8)	57	(12.5)	0	(0.0)
若者の出会いの場	80	(17.5)	108	(23.7)	135	(29.6)	28	(6.1)	17	(3.7)	37	(8.1)	51	(11.2)	0	(0.0)
世代間交流	50	(11.0)	115	(25.2)	153	(33.6)	27	(5.9)	14	(3.1)	41	(9.0)	54	(11.8)	2	(0.4)
成年後見制度	43	(9.4)	109	(23.9)	163	(35.7)	26	(5.7)	8	(1.8)	54	(11.8)	53	(11.6)	0	(0.0)
権利擁護	31	(6.8)	92	(20.2)	171	(37.5)	26	(5.7)	12	(2.6)	66	(14.5)	57	(12.5)	1	(0.2)
老人クラブ活動	18	(3.9)	98	(21.5)	175	(38.4)	60	(13.2)	22	(4.8)	34	(7.5)	48	(10.5)	1	(0.2)

※各項目合計値は456件 (100%)

### 地域福祉関心度



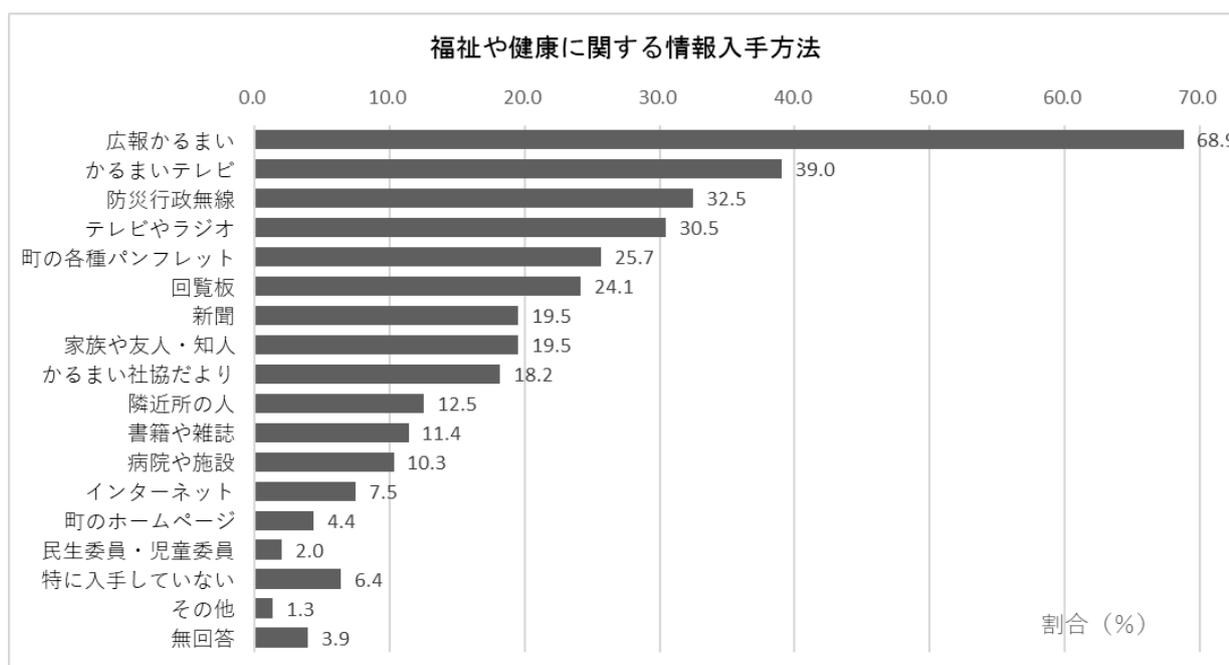


問26 福祉や健康に関する情報を何から入手していますか。【〇はいくつでも】

- ①広報かるまい ②かるまいテレビ ③防災行政無線 ④町の各種パンフレット  
 ⑤町のホームページ ⑥かるまい社協だより ⑦民生委員・児童委員  
 ⑧隣近所の人 ⑨回覧板 ⑩病院や施設 ⑪新聞 ⑫テレビやラジオ  
 ⑬書籍や雑誌 ⑭家族や友人・知人 ⑮インターネット ⑯特に入手していない  
 ⑰その他（ ）

福祉や健康に関する情報の入手経路については、「広報かるまい」から入手している割合が最も高く7割近くを占めています。次に割合が高かった「かるまいテレビ」は4割ほどでした。また、「特に入手していない」との回答も6.4%あります。

選択肢	n= 456	
	件数 (件)	割合 (%)
広報かるまい	314	68.9
かるまいテレビ	178	39.0
防災行政無線	148	32.5
テレビやラジオ	139	30.5
町の各種パンフレット	117	25.7
回覧板	110	24.1
新聞	89	19.5
家族や友人・知人	89	19.5
かるまい社協だより	83	18.2
隣近所の人	57	12.5
書籍や雑誌	52	11.4
病院や施設	47	10.3
インターネット	34	7.5
町のホームページ	20	4.4
民生委員・児童委員	9	2.0
特に入手していない	29	6.4
その他	6	1.3
無回答	18	3.9



その他の回答（抜粋）

・職場。（50代・女性・会社員）

・福祉の職場の人。（30代・女性・会社員）

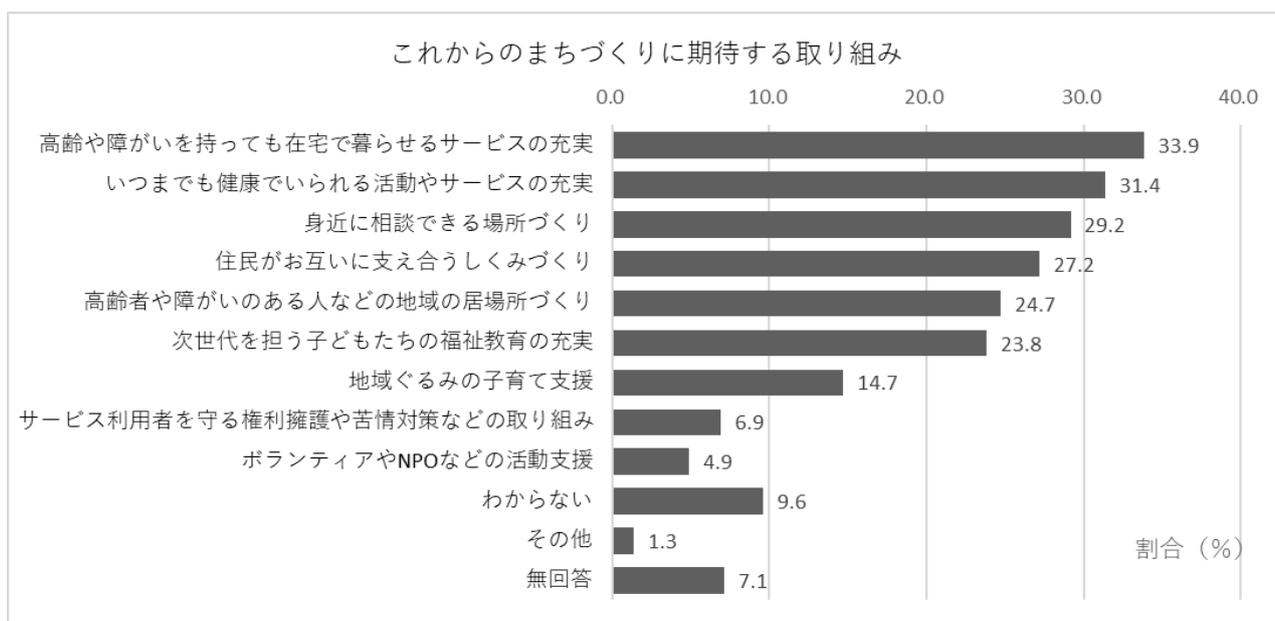


問28 これからのまちづくりで町に期待する取り組みは何ですか。【〇は3つまで】

- |                           |                         |
|---------------------------|-------------------------|
| ①身近に相談できる場所づくり            | ②住民がお互いに支え合うしくみづくり      |
| ③次代を担う子どもたちの福祉教育の充実       | ④ボランティアやNPOなどの活動支援      |
| ⑤高齢や障がいを持って在宅で暮らせるサービスの充実 | ⑥いつまでも健康でいられる活動やサービスの充実 |
| ⑦サービス利用者を守る権利擁護や苦情対策など    | ⑧高齢者や障がいのある人等の地域の居場所づくり |
| ⑨地域ぐるみの子育て支援              | ⑩わからない                  |
| ⑪その他（                     | ）                       |

町に期待する取り組みについては、高い割合から順に「高齢や障がいを持って在宅で暮らせるサービスの充実」33.9%、「いつまでも健康でいられる活動やサービスの充実」31.4%、「身近に相談できる場所づくり」29.2%とそれぞれ3割ほどを占めています。健康でいられること、高齢になっても障害を抱えても、住み慣れた生活を続けられること、相談相手がいることなどが望む生活像としてみられます。

選択肢	n= 449	
	件数（件）	割合（%）
高齢や障がいを持って在宅で暮らせるサービスの充実	152	33.9
いつまでも健康でいられる活動やサービスの充実	141	31.4
身近に相談できる場所づくり	131	29.2
住民がお互いに支え合うしくみづくり	122	27.2
高齢者や障がいのある人などの地域の居場所づくり	111	24.7
次世代を担う子どもたちの福祉教育の充実	107	23.8
地域ぐるみの子育て支援	66	14.7
サービス利用者を守る権利擁護や苦情対策などの取り組み	31	6.9
ボランティアやNPOなどの活動支援	22	4.9
わからない	43	9.6
その他	6	1.3
無回答	32	7.1
※無効票	7	



その他の回答（抜粋）

- ・若者が定着するまちづくり。（40代・男性・軽米小学校区・会社員）
- ・オレンジカフェ、町内でもやってほしい。（30代・女性・会社員）

問29 誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことのできる地域づくりを進めるために、日頃感じていること、ご意見やご要望等がありましたら、自由にご記入下さい。

回答内容（抜粋）

●地域活動の衰退

- 地域の人たちのつながりが希薄になっていると思う。会えば挨拶ぐらいはすると思うが、町内会活動等の出席者が減っていると思う。地域の人たちのつながりを深めるような何かがあれば良いと思う。地域の人たちの声掛け運動みたいなものも必要と思う。（70代・男性・無職）
- 行事や広報活動など積極的に行われており、とても良いと思います。行事への参加人数が人口の減少とともに減ってきているのが現状で、なかなか参加者を見つけるのが大変になってきています。行事が開催される前にも参加を募るような掲載などがあればいいなと思います。アパート暮らしや転居された方も各行政区の活動に参加して、もっと町を盛り上げていってほしいなと思います。（30代・女性・会社員）
- 高齢者社会というように自分たちの町も年々若者は町を出て、残るのは年をとった方しかいなくなつて、災害などが発生した時の地域の活動などで防ぐことができるものかとても心配である。（60代・男性・年金生活者）

●高齢化

- 高齢化対策。（50代・男性・無職）
- 近くの一人暮らしのおばあさんがいるのですが、朝雨戸が開かないからとって心配で、今後どうすればいいのかわ教えてください。（60代・男性・自営業）
- 年々お年寄りが増え、班長などの行政区の役割も厳しくなってきています。この先少ない人口となり、そういった役割もどうなっていくのか心配に思います。今後、役場に担当部署を設けたらお年寄りの負担も減るのかな？と思います。（30代・女性・会社員）
- 今後老人が増え、若い人がいない家が周りに多いのが不安です。自分たちが老人になったときはどうなっているのか。（50代・女性・公務員/団体職員）
- 老人ホームも入居基準を知らないの聞いてはいるのですが、一か所に長く居られないなど夫婦でバラバラの施設に入っていると不安はいっぱいです。（50代・女性・公務員/団体職員）

●介護について

- 定期的な介護の状態を相談、確認する人の訪問を希望する。（50代・男性・無職）
- 家族介護で待機している方もいるようです。仕事で食事、排せつ、入浴の介助は多少できるようになったので家族の見守りをしていただければ何かお手伝いできるかなあと考えています。（50代・女性・パート/アルバイト）

●医療について

- 病院の充実。（50代・男性・無職）
- 観音林の診療所を再開してほしい。風邪などの時に、わざわざバスで軽米病院や二戸病院へ行くのはつらい。（50代・男性・無職）
- 全く今の生活に不満はありません。近い将来私たちも介護生活に入ると思います。その時定期的に往診して下さる医師が軽米町でもいて下さったら介護する側もされる側も心強いと思います。（60代・女性・自営業）

### ●子育て

- 子どもや親が贅沢をしない、させない。質素、儉約。(50代・男性・無職)
- 病児保育または既存の保育園に病後児保育機能を取り入れる等あれば働く世代も周りに気を遣わず働くことができますと思います。(そのためには、軽米病院への小児医の誘致、保育園で働く看護師の確保が必要)。(30代・女性・公務員/団体職員)
- 子育ては、ある時期までは親の責任で愛情あふれる育て方をすることも大切なことだと思う。親として困ったときには、ほかに相談して(智慧)を借りることも大事な事。笑顔で迎えてくれる者がいてこそ子供は心身ともに良い方向に育っていくと思います。(80歳以上・女性・無職)
- 児童クラブを町内に一つではなく小学校ごとに作ってほしい。放課後子ども教室の延長でそのままその指導員から見守ってもらいたい。場所は小学校でなく公民館でも。そのほうが親や祖父母が迎えに行くのも絶対スムーズ!(30代・女性・会社員)

### ●若者の生活応援

- 若者の農業への参加。(50代・男性・無職)
- 若者の就職先がない。働ける場所を増やしてほしい。(30代・女性・会社員)
- 若い世代を応援していく雰囲気が欲しい。(50代・女性・パート/アルバイト)

### ●次世代への継承

- 庭や畑は今の生活スタイルには邪魔ですが、野菜が採れなければ買わなければいけない。先代から教えられた生活と土地と暮らしていくすべや収入の少なさで、次の世代へ良いものとして引き渡すことができるか不安です。(30代・女性・会社員)

### ●交通手段

- 中心部から離れて住む方たちへの交通手段の提供。(30代・女性・パート/アルバイト)
- 町から少し離れただけで車がないと買い物、病院に行けない不便さ。(50代・女性・公務員/団体職員)
- 子供が軽高生のころ、朝課外7:30までに行くのに、バスがない事や、中学校のスクールバスに登録しないと乗れず(毎日活用する人のみでした)、時間が合わなくて「スクールバスに乗ってよい」とか「交通費は援助する」といわれても活用できませんでした。(50代・女性・公務員/団体職員)

### ●道路、橋、街灯、公園

- 道路の復旧作業が遅いので路肩の崩壊箇所を早く直してほしい。特に(上館~板橋間)危険です。メモリアルブリッジも老朽化が目立ちメンテナンスされているのか不安です。(30代・女性・会社員)
- 街灯が少ない。町内から外れている所の街灯を増やした方がいいと思う。(30代・女性・会社員)
- プランコやすべり台のある、そして自転車の練習(小学校低学年)のできる公園が欲しいです。(70代・女性・自営業)

### ●防犯や治安について

- 治安維持のためのパトロールと犯罪を通報する義務を果たす。見て見ぬふりはダメ!(50代・男性・無職)
- 車の暴走行為をやめさせてほしい。(50代・男性・無職)
- 最近の家庭は年寄りの2人暮らし家庭が多く、社会事情も様々事件が多く、いざという時にベル1つで町中になり響く様な工夫はないものかと考えて居ります。(80歳以上・女性・無職)

●経済の発展や充実

- ・商店街の利用をし、身近な所で買い物をできるように後継者や地域の協力で店をつぶさないようにする。(50代・男性・無職)
- ・安心して暮らせる地域づくりには、経済の充実が不可欠ではないでしょうか。また、それは、国・県に依存せずできればより良いと考えます。(50代・男性・会社員)
- ・県南の市町村のように、行政が、行政の長が積極的に先頭に立ってそのことに取り組み…と感じます。(50代・男性・会社員)

●不動産情報について

- ・アパート、マンション、空き家の情報など。不動産屋がないので大変です。住みたい、借りたい人のためにも必要だと思います。(40代・男性・会社員)

●近所つきあい

- ・昔から町内に住んでいる人同士の結びつきが強すぎて、町外からの転入者が入る隙間がない(入りにくい)。(20代・男性・公務員/団体職員)
- ・お互いさまといえども自己責任である。日ごろからいろいろな付き合いをしていった方がいいと思う。(50代・女性・パート/アルバイト)

●福祉施設の充実やサービス利用基準

- ・直接見たり聞いたりしたわけではないのですが、色々なサービスや助成を受ける際に、対応する人によって判断基準が違うことがあるようなので、線引きをしてほしい。(50代・女性・自営業)
- ・福祉施設の充実、いちい荘を新しくするのは良いと思うが…慣れ親しんだ場所での生活も高齢者には良いと思う。廃校を利用した小規模多機能的な所とか。今までのいちい荘は、牢獄のような部屋だった。これからは温かみのある生活ができる環境にしてほしい。利用者さんが畑を作ったりできるスペースをつくらせたり、もっと地域の人と交流できるようになってほしい。安心していちい荘に家族等が利用できるようにしてほしい。(30代・女性・会社員)

●多様性を認め合うこと

- ・若い人と高齢者の意見の違い、他人との考え方の違いを認め合えるような相談する相手が欲しい。(50代・女性・パート/アルバイト)
- ・自分の生活でいっぱいなので、支え合う仕組みづくりに〇をしましたが、相手に与えられないと思いますので逆も然りだと思っています。(30代・女性・会社員)

●その他

- ・今までで十分と思います。(80歳以上・女性・年金生活者)

資料：調査票

調査依頼文書・アンケート調査票

# 地域福祉アンケート ご協力のお願い

—平成30年7月・軽米町—

日頃より、町行政へのご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

今年度、軽米町では、皆様がいつまでも住み慣れた地域で、お互いに、助けたり助けられたりしながら、生活を続けていけることを目指して、「地域福祉計画」を作るための取り組みを進めております。

つきましては、この取り組みに住民の皆様のお考えやご要望を反映するため、アンケート調査を実施することと致しました。このアンケートの対象は、町内に住所がある方々とし、1,000人を抽出して行うものです。

お忙しいところ、大変お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、別紙アンケートにご回答下さりますようお願い致します。

回答に当たっては、選択肢を選ぶものは、それぞれの問いにそって選択肢に○を、記述式回答については、回答欄にご記入をお願いします。

この調査票は同封の返信用封筒で、8月12日までに、ご投函下さりますようお願い申し上げます。

担当：軽米町健康福祉課 福祉担当（角田）

電話：0195-46-4736



問3 あなたは暮らしの中で、心配ごとや助けが必要な時に、誰に相談しますか。

【〇は3つまで】

- |             |               |               |            |
|-------------|---------------|---------------|------------|
| ①家族         | ②近くに住む親戚      | ③遠方の頼りにしている親戚 | ④近所の人      |
| ⑤知人・友人      | ⑥町役場          | ⑦社会福祉協議会      | ⑧民生委員・児童委員 |
| ⑨かかりつけの医療機関 | ⑩福祉サービス事業者    | ⑪相談できる人がいない   |            |
| ⑫相談しない      | ⑬相談するようなことはない | ⑭その他（         | ）          |

問4 あなたは毎日の暮らしの中で、どのような心配ごとをお持ちですか。

【〇は3つまで】

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| ①自分や家族の健康に関すること | ②家族の介護に関すること  |
| ③仕事に関すること       | ④生活費など経済的なこと  |
| ⑤ご近所との関係        | ⑥育児や子育てに関すること |
| ⑦自分や家族の将来のこと    | ⑧住居に関すること     |
| ⑨防犯に関すること       | ⑩防災に関すること     |
| ⑪特にない           | ⑫その他（         |
|                 | ）             |

問5 あなたは今住んでいる地域のつながりが、以前と比べてどのようになっていると感じますか。【〇は1つ】

- |            |            |          |
|------------|------------|----------|
| ①強くなっている   | ②やや強くなっている | ③変わっていない |
| ④やや弱くなっている | ⑤弱くなっている   | ⑥わからない   |
| ⑦その他（      |            | ）        |

## 地域の活動への参加について

問6 あなたは、地域団体（町内会・行政区など）の活動にどの程度参加されていますか。【〇は1つ】

- |              |                |
|--------------|----------------|
| ①積極的に参加している  | ②つきあい程度に参加している |
| ③ほとんど参加していない | ④全く参加していない     |
| ⑤その他（        | ）              |

問7 今後、地域活動への参加の依頼があった場合、あなたはどうしますか。【〇は1つ】

- |                    |             |
|--------------------|-------------|
| ①積極的に参加したい         | ②ほどほどに参加したい |
| ③どちららというとなら参加したくない | ④参加したくない    |
| ⑤その他（              | ）           |

**問8 問7でそう思うのはどのような理由からですか。【〇は3つまで】**

- ①地域の一員としての責務だと思うから
- ②地域の人と良い関係をつくりたいから
- ③興味があるから
- ④時間があるから
- ⑤自分の健康のため
- ⑥参加したいけどできない理由があるから
- ⑦人づきあいが苦手だから
- ⑧時間がないから
- ⑨興味がないから
- ⑩めんどろうだから
- ⑪その他（ )

**問9 あなたはどのようなボランティアの活動に関心がありますか。【〇はいくつでも】**

- ①高齢者関係（友愛訪問、クラブ活動への協力支援や施設訪問交流など）
- ②障がい関係（手話や車いす補助、社会参加・生活支援や施設訪問交流など）
- ③子育て関係（託児、育児相談や育児サークルの支援や施設訪問交流など）
- ④保健・医療関係（健康教室の支援・指導、通院支援や病院訪問交流など）
- ⑤青少年関係（悩み相談や交流、地域子ども会活動による健全育成支援など）
- ⑥環境保全関係（自然愛護や環境美化活動、リサイクル活動など）
- ⑦災害支援関係（災害時の避難所の支援や災害家庭等の片づけの支援など）
- ⑧関心がない
- ⑨その他（ )

**問10 ボランティア活動の普及に、どのようなことが必要と思いますか。【〇は3つまで】**

- ①ボランティアに経済的負担がかからないように交通費などの実費を補助する
- ②企業などがボランティア休暇を認めるなどの特別な配慮をする
- ③学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う
- ④地域での子どものボランティア活動を活発に行う
- ⑤ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する
- ⑥ボランティア研修を開催し、人材を養成する
- ⑦ボランティア活動についての情報提供を積極的に行う
- ⑧分からない
- ⑨その他（ )





問21 問20でそう思う理由はなんですか。【〇はいくつでも】

助けてほしい理由	助けてほしいと思わない理由
①普段からよく知っている人だから ②近くにいるから ③お互い様だと思うから ④ほかに頼める人がいないから ⑤その他 ( )	⑥プライバシーが守られているか不安だから ⑦地域の人に気をつかうことが嫌だから ⑧他人の世話にはなりたくないから ⑨必要性を感じないから ⑩その他 ( )

社会福祉協議会について

問22 あなたは「軽米町社会福祉協議会」を知っていますか。【〇は1つ】

①名前も活動内容もよく知っている ②名前は知っているが、活動内容はよく知らない ③名前も活動内容も知らない
---

問23 軽米町社会福祉協議会では以下の事業を行っています。あなたが知っている事業や活動はありますか。知っているものに〇をつけてください。【〇はいくつでも】

<p>【団体事務の受託】</p> ①赤い羽根共同募金運動（10月） ②歳末たすけあい募金運動（12月） ③災害見舞金の贈呈・災害義援金の取り扱い ④民生委員・児童委員協議会の事務 ⑤民生児童委員「そばはっと」無料配布事業 ⑥老人クラブ連合会の事務 ⑦日本赤十字社軽米町分区の事務  <p>【地域福祉事業】</p> ⑧「あのなっす」相談所の開設（常設相談、弁護士無料相談） ⑨ボランティアセンター活動
--

- ⑩日常生活自立支援事業
- ⑪ふれあいサロン活動支援
- ⑫ふれあい広場の開催（10月）

【高齢者関連事業】

- ⑬軽米町老人福祉センターの管理
- ⑭通所型介護予防事業（デイサービス）
- ⑮家族介護用品支給事業（在宅の要介護者世帯へのおむつ等の現物支給）
- ⑯福祉機器レンタル事業（福祉器具の貸出）
- ⑰生活管理指導員派遣事業（日常生活上の健康管理などの支援）
- ⑱ひとり暮らし高齢者見守り事業（家庭訪問または電話連絡による見守り）
- ⑲軽米町地域活動拠点整備事業（地域包括支援センターランチ事業）
- ⑳シルバー人材センターの事務支援

【介護保険関連事業】

- ㉑特別養護老人ホーム「いちい荘」の経営

【障がい者関連事業】

- ㉒指定居宅介護事業所（障がい者ヘルパー）の経営
- ㉓心身障害者ホームヘルパー設置運営事業
- ㉔就労継続支援B型事業所こぶしの経営
- ㉕地域活動支援センターふれあいの運営

【児童関連事業】

- ㉖福祉体験学習等への協力支援（職員の派遣）

【低所得者への支援】

- ㉗生活困窮者自立支援事業（二戸市社協くらしの相談窓口との連携）
- ㉘生活福祉資金貸付事業
  
- ㉙その他（）

## 地域福祉の推進について

問24 あなたは、次のことについて関心はありますか。

あてはまる + に○をご記入ください。【各項目1つに○】

	①	②	③	④	⑤	⑥
	とても 関心が ある	どちらか という 関心が ある	どちらで もない	どちらか という 関心が ない	まったく 関心が ない	わからな い
① 町の高齢化	—	—	—	—	—	—
② 介護予防	—	—	—	—	—	—
③ 介護保険制度 (介護サービス含む)	—	—	—	—	—	—
④ 終末期医療	—	—	—	—	—	—
⑤ 在宅ケア (在宅での看取り含む)	—	—	—	—	—	—
⑥ 老人クラブ活動	—	—	—	—	—	—
⑦ 子育て支援	—	—	—	—	—	—
⑧ 働く親への支援	—	—	—	—	—	—
⑨ 若者の就学の支援	—	—	—	—	—	—
⑩ 若者の活躍の場	—	—	—	—	—	—
⑪ 若者の出会いの場	—	—	—	—	—	—
⑫ 世代間交流について	—	—	—	—	—	—
⑬ 障害を持つ人への支援	—	—	—	—	—	—
⑭ 難病を持つ人への支援	—	—	—	—	—	—
⑮ 生活困窮者への支援	—	—	—	—	—	—
⑯ 成年後見制度について	—	—	—	—	—	—
⑰ 権利擁護について	—	—	—	—	—	—
⑱ 町内の治安について	—	—	—	—	—	—
⑲ 災害時の避難について	—	—	—	—	—	—
⑳ 災害からの復旧	—	—	—	—	—	—

問25 問24で関心がある項目について、あなたが関わるとしたらどのような関わり方を選びますか。【〇はいくつでも】

- ①意見交換できる場への参加
- ②勉強会（講演会）への参加
- ③ボランティア活動としての参加
- ④アンケート等への協力
- ⑤日常生活の中で個人的に
- ⑥関心はあるが自分に関わることはできない
- ⑦関心はあるが自分に関わることはない
- ⑧よくわからない
- ⑨その他（ ）

問26 福祉や健康に関する情報を何から入手していますか。【〇はいくつでも】

- ①広報かるまい ②かるまいテレビ ③防災行政無線 ④町の各種パンフレット
- ⑤町のホームページ ⑥かるまい社協だより ⑦民生委員・児童委員
- ⑧隣近所の人 ⑨回覧板 ⑩病院や施設 ⑪新聞 ⑫テレビやラジオ
- ⑬書籍や雑誌 ⑭家族や友人・知人 ⑮インターネット ⑯特に入手していない
- ⑰その他（ ）

問27 福祉や健康について、どんな情報を知りたいとお考えですか。【〇は3つまで】

- ①健康づくりについての情報
- ②子育ての支援やサービスについての情報
- ③高齢者の支援やサービスについての情報
- ④障がい者の支援やサービスの情報
- ⑤介護保険についての情報
- ⑥ボランティア活動やNPOなどの活動についての情報
- ⑦特にない
- ⑧その他（ ）

